

* فَمَنْ أَظْلَمُ مِمَّنْ كَذَبَ عَلَى اللَّهِ وَكَذَبَ بِالصِّدْقِ
 إِذْ جَاءَهُ وَهُوَ الْبَيْسُ فِي جَهَنَّمَ مَثْوًى لِّلْكَافِرِينَ ﴿٣٦﴾ وَالَّذِي
 جَاءَ بِالصِّدْقِ وَصَدَّقَ بِهِٓٓهُٓٓ أُولَٰئِكَ هُمُ الْمُتَّقُونَ ﴿٣٧﴾
 لَهُمْ مَا يَشَاءُونَ عِنْدَ رَبِّهِمْ ذَٰلِكَ جَزَاءُ الْمُحْسِنِينَ ﴿٣٨﴾
 لِيُكَفِّرَ اللَّهُ عَنْهُمْ أَسْوَأَ الَّذِي عَمِلُوا وَيَجْزِيَهُمْ أَجْرَهُمْ
 بِأَحْسَنِ الَّذِي كَانُوا يَعْمَلُونَ ﴿٣٩﴾ أَلَيْسَ اللَّهُ بِكَافٍ
 عَبْدَهُ وَيُخَوِّفُونَكَ بِالَّذِينَ مِنْ دُونِهِ وَمَنْ يُضِلِلِ اللَّهُ
 فَمَا لَهُ مِنْ هَادٍ ﴿٤٠﴾ وَمَنْ يَهْدِ اللَّهُ فَمَا لَهُ مِنْ مُضِلٍّ
 أَلَيْسَ اللَّهُ بِعَزِيزٍ ذِي انْتِقَامٍ ﴿٤١﴾ وَلَٰئِن سَأَلْتَهُمْ مَنْ خَلَقَ
 السَّمٰوٰتِ وَالْأَرْضَ لَيَقُولُنَّ اللَّهُ قُلْ أَفَرَأَيْتُمْ مَا تَدْعُونَ
 مِنْ دُونِ اللَّهِ إِنْ أَرَادَنِيَ اللَّهُ بِضُرٍّ هَلْ هُنَّ كَاشِفَاتُ
 ضُرِّيهِٓٓهُٓٓ أَوْ أَرَادَنِي بِرَحْمَةٍ هَلْ هُنَّ مُمْسِكَاتُ رَحْمَتِيهِٓٓهُٓٓ
 قُلْ حَسْبِيَ اللَّهُ عَلَيْهِ يَتَوَكَّلُ الْمُتَوَكِّلُونَ ﴿٤٢﴾ قُلْ يَأْتِيهِ
 عَمَلُوا عَلَىٰ مَكَانَتِكُمْ إِيَّايَ عَمِلٌ فَسَوْفَ تَعْلَمُونَ ﴿٤٣﴾
 مَنْ يَأْتِيهِ عَذَابٌ يُجْزِيهِ وَيَجْلُ عَلَيْهِ عَذَابٌ مُّقِيمٌ ﴿٤٤﴾

32 共同者、妻、子供など、アッラーにふさわしくないものをアッラーに結びつける者より、ひどい不正を働く者はいない。また、アッラーの使徒が伝える啓示を嘘よばわりする者より、ひどい不正を働く者はいない。アッラーと、その使徒が伝えるものを否定する者の居場所は、地獄ではないのか?いや、そうである。

アッラーは嘘つき、嘘呼ばわりする者を取り上げた後、信仰する正直者について言及され、言う。

33 預言者やそれ以外の者たちで、言葉と行いにおいて正直さをもたらす者、そしてそれを信じ、それに則って行う者、それらの者たちは主のご命令と禁止事項を守る、真に敬虔な者たち。

34 かれらには主のもとの、かれらが望むあらゆる永遠の楽しみがある。それは、創造主とその僕たちに対してよい行いをしていた者たちの報いである。

35 アッラーは、かれらが現世で行っていた最悪の罪をその悔悟のために抹消し、かれらが行っていた最善の善行に報いてくれる。

36 アッラーだけで宗教と現世におけるムハンマドの物事は十分であり、**かれ**が敵から守って下さるのではない。いや、**かれ**だけで十分なのだ。使徒よ、かれらはその愚かさのため、かれらがアッラーをよそに崇めている偶像が、あなたを害するだろうと恐がらせる。アッラーが導くことから見捨てられた者には、いかなる導き手も存在しない。

37 アッラーが導いた者には、かれを迷わせる者はいない。アッラーは誰にも制圧されない偉大なお方であり、不信仰と罪を犯す者には応報されるお方ではないか?いや、**かれ**は偉大で応報されるお方なのだ。

38 使徒よ、あなたがかれら多神教徒たちに「天地を創造したのは誰か?」と尋ねれば、かれらは言う。「アッラーがそれらを創った。」かれらの神々の無力さを明らかにして、言え。「あなたがアッラーをよそに崇拝しているこれらの偶像について、言ってみよ。アッラーがわたしを害することを望んだら、誰がその害をわたしから除去してくれるのか?また、主がわたしに慈悲をかけることを望んだら、誰がそれを阻めるのか?」言え。「アッラーだけでわたしには十分。わたしは全ての物事において、**かれ**に委任した。委任する者たちは、**かれ**にのみ委任するがよい。」

39 使徒よ、言え。「わが民よ、あなたが満足している多神教のまま、行っているがよい。わたしは主がわたしに命じたように、アッラーの唯一性への誘いと、**かれ**だけに至誠を尽くして崇拝を行う。あなたがその各々の結末を知ることになる。」

40 あなた方は、現世において誰に辱めの罰が下り、来世においては途絶えることのない永劫の罰が降りかかるか、知ることになる。」

本諸節の功德:

- アッラーに対する捏造、かれとその教えにふさわしくないものを結びつけることの大きな危険性。
- 敵から被害を被ることに関する、アッラーの預言者に対するご加護。
- アッラーを崇拝対象として唯一化しない限り、アッラーの主性における唯一性を認めただけでは、地獄からの救いとはならない。

إِنَّا أَنْزَلْنَا عَلَيْكَ الْكِتَابَ لِلنَّاسِ بِالْحَقِّ فَمَنِ اهْتَدَىٰ فَلِنَفْسِهِ ۖ وَمَنْ ضَلَّ فَإِنَّمَا يَضِلُّ عَلَيْهَا وَمَا أَنْتَ عَلَيْهِمْ بِوَكِيلٍ ﴿٤٦﴾ اللَّهُ يَتَوَفَّى الْأَنْفُسَ حِينَ مَوْتِهَا وَالَّتِي لَمْ تَمُتْ فِي مَنَامِهَا فَيُمْسِكُ الَّتِي قَضَىٰ عَلَيْهَا الْمَوْتَ وَيُرْسِلُ الْأُخْرَىٰ إِلَىٰ أَجَلٍ مُّسَمًّى ۚ إِنَّ فِي ذَٰلِكَ لَآيَاتٍ لِّقَوْمٍ يَتَفَكَّرُونَ ﴿٤٧﴾ أَمْ اتَّخَذُوا مِنْ دُونِ اللَّهِ شُفَعَاءَ قُلْ أَوْلَوْكَ أَنْ تُلَاقَىٰ أُولَٰئِكَ لَئِنْ كُنْتُمْ تُحِبُّونَ اللَّهَ فَاتَّبِعُونِي يُحْبِبْكُمُ اللَّهُ وَيَغْفِرْ لَكُمْ ذُنُوبَكُمْ ۗ وَاللَّهُ غَفُورٌ رَّحِيمٌ ﴿٤٨﴾ وَإِذَا ذُكِرَ اللَّهُ وَحْدَهُ اشْمَأَزَّتْ قُلُوبُ الَّذِينَ لَا يُؤْمِنُونَ بِالْآخِرَةِ ۖ وَإِذَا ذُكِرَ الَّذِينَ مِنْ دُونِهِ إِذَا هُمْ يَسْتَبْشِرُونَ ﴿٤٩﴾ قُلِ اللَّهُمَّ فَاطِرَ السَّمَاوَاتِ وَالْأَرْضِ عَلِّمِ الْعَلِيِّ وَالشَّهَادَةِ أَنْتَ تَحْكُمُ بَيْنَ عِبَادِكَ فِي مَا كُنُوا فِيهِ يَخْتَلِفُونَ ﴿٥٠﴾ وَلَوْ أَنَّ لِلَّذِينَ ظَلَمُوا مَا فِي الْأَرْضِ جَمِيعًا وَمِثْلَهُ مَعَهُ لَافْتَدَوْا بِهِ مِنْ سُوءِ الْعَذَابِ يَوْمَ الْقِيَامَةِ وَبَدَا لَهُمْ مِنَ اللَّهِ مَا لَمْ يَكُونُوا يَحْتَسِبُونَ ﴿٥١﴾

④①使徒よ、われらは人々に警告するため、クルアーンを真理と共にあなたに下した。導かれた者は導きによって自分自身を益したのであって、アッラーがそれによって利益を被るわけではない。また迷った者は迷いによって自らを害したのであり、アッラーがそのことで害を被ることもない。あなたはかれらに導きを強いる委任者でもなく、ただ自分が伝達を命じられたことをかれらに伝えるだけなのだ。

④②アッラーはその寿命が尽きた時、魂を召されるお方。また、寿命が尽きていない魂については、その睡眠の際に召され、死の決定がなされたものについては留め置き、そうでないものについては、アッラーのみがご存知になる定められた時期まで、解き放たれるお方。熟考する民にとって、魂の留置、解放、死生の中には、そのようなことがお出来の方には、死後の清算と報いのために人々を復活させることも可能だという証拠がある。

④③多神教徒たちは偶像を、アッラー以外にご利益が期待できる執り成し手とした。使徒よ、言え。「あなた方にも、自分たち自身にも利益をもたらすことが出来ず、理性も持たないものを、執り成し手とするのか？」それらは話すことも聞くことも見ることも出来ず、利益も害も及ぼすことの出来ない物体に過ぎないのに？

④④使徒よ、かれら多神教徒たちに言え。「アッラーだけに全ての執り成しは属する。かれのもとで、誰もかれの許しなしで執り成しは出来ず、またかれが満足した者にしか執り成しは出来ない。かれのみ天地の王権は属する。そして審判の日、あなた方は清算と報いのため、かれのもとへと戻り行き、そこで行いの報いを受けるのだ。」

④⑤アッラーだけが言及されれば、来世とそこで起きる復活、清算、報いなどを否定する多神教徒たちの心は嫌悪する。だがかれらがアッラーをよに崇拜する偶像が言及されれば、かれらには有頂天になって喜ぶ。

④⑥使徒よ、言え。「天地を前例のない形で創造したお方アッラーよ、隠れたものも露わなものも全てご存知のお方よ。あなたこそが審判の日、僕たちが現世で意見を違えていたことについて、判決を下されます。その時、正しい者と間違っていた者、幸福な者と不幸な者が明らかになるのです。」

④⑦多神と罪によって不正を犯していた者に、地上の財産や宝があったとしたら、かれらはそれで、復活後に目にする厳罰を償おうとしたらう。だがかれらはそうすることが出来ない。もしそうしたとしても、それは受け入れられない。かれらは、予想さえしなかったアッラーからの様々な罰を、目の当たりにするのだ。

本諸節の功德:

- 睡眠と目覚めは死と復活を知るための、毎日の教訓である。
- 不信仰者はアッラーだけが言及されると、それを悩ましく感じる。なぜならかれらはアッラーの命令や禁止に対し、完全に背いていることを思い出すからである。
- 不信仰者は、現世でそのようなことを惜しんでいたにも関わらず、審判の日には自分が所有する全てのもので償おうとする。だが、それは受け入れられない。

وَبَدَأَ لَهُمْ سَيِّئَاتٍ مَا كَسَبُوا وَحَاقَ بِهِمْ مَا كَانُوا بِهِ يَسْتَهْزِئُونَ ﴿٤٨﴾ فَإِذَا مَسَّ الْإِنْسَانَ ضُرٌّ دَعَانَا ثُمَّ إِذَا خَوَّلْتَهُ نِعْمَةً مِمَّا قَالِ إِنَّمَا أَوْتَيْتُهُ وَعَلَىٰ عِلْمٍ بَلْ هِيَ فِتْنَةٌ وَلَٰكِنَّ أَكْثَرَهُمْ لَا يَعْلَمُونَ ﴿٤٩﴾ قَدْ قَالَهَا الَّذِينَ مِنْ قَبْلِهِمْ فَمَا أَغْنَىٰ عَنْهُمْ مَا كَانُوا يَكْسِبُونَ ﴿٥٠﴾ فَأَصَابَهُمْ سَيِّئَاتُ مَا كَسَبُوا وَالَّذِينَ ظَلَمُوا مِنْ هَٰؤُلَاءِ سَيُصِيبُهُمْ سَيِّئَاتُ مَا كَسَبُوا وَمَا هُمْ بِمُعْجِزِينَ ﴿٥١﴾ أَوَلَمْ يَعْلَمُوا أَنَّ اللَّهَ يَبْسُطُ الرِّزْقَ لِمَنْ يَشَاءُ وَيَقْدِرُ إِنَّ فِي ذَٰلِكَ لَآيَاتٍ لِقَوْمٍ يُؤْمِنُونَ ﴿٥٢﴾ * قُلْ يَعْبَادِي الَّذِينَ أَسْرَفُوا عَلَىٰ أَنفُسِهِمْ لَا تَقْنَطُوا مِنْ رَحْمَةِ اللَّهِ إِنَّ اللَّهَ يَغْفِرُ الذُّنُوبَ جَمِيعًا إِنَّهُ هُوَ الْغَفُورُ الرَّحِيمُ ﴿٥٣﴾ وَأَنِيبُوا إِلَىٰ رَبِّكُمْ وَأَسْلَمُوا لَهُ مِنْ قَبْلِ أَنْ يَأْتِيَكُمُ الْعَذَابُ ثُمَّ لَا تُنصِرُونَ ﴿٥٤﴾ وَأَتَّبِعُوا أَحْسَنَ مَا أُنزِلَ إِلَيْكُمْ مِنْ رَبِّكُمْ مِنْ قَبْلِ أَنْ يَأْتِيَكُمُ الْعَذَابُ بَغْتَةً وَأَنْتُمْ لَا تَشْعُرُونَ ﴿٥٥﴾ أَنْ تَقُولَ نَفْسٌ يَا حَسْرَتَىٰ عَلَىٰ مَا فَرَطْتُ فِي جَنْبِ اللَّهِ وَإِن كُنْتُ لَمِنَ السَّخِرِينَ ﴿٥٦﴾

④⑧ 多神や罪といった、かれらが稼いだ悪事が、かれらの目の当たりになる。現世でかれらが警告されていたにも関わらず馬鹿にしていた罰が、かれらを包囲するのだ。

④⑨ 不信仰な人間は病や貧困などに襲われれば、それを解消してもらおうとわれらに祈る。しかしわれらが健康や財産などの恵みを授けてやれば、不信仰者はこう言うのだ。「アッラーはわたしがそれにふさわしいことを知っていたから、わたしにこれを授けたのだ。」実のところ、これは試練であり、着実に忍び寄る罰なのだ。だが多くの不信仰者はこのことを知らず、アッラーの恩恵に自惚れている。

⑤① かれら以前もやはり、不信仰者たちはこのようなことを言っていた。そしてかれらが手にしていた財産や地位は、何の役にも立たなかったのだ。

⑤② こうしてかれらは、かれらが稼いでいた多神や罪などの悪事の報いを受けた。それらの罪によって自らに不正を犯している現在の者たちもまた、過去の者たちと同様の悪事の報いを受けるだろう。かれらにはアッラーを出し抜くことも、かれに打ち勝つことも出来ない。

⑤③ かれら多神教徒たちは、それが試練だということも知らずに、そんなことを言っていたのか？感謝するか恩知らずになるかを試すため、アッラーがお望みの者に豊かな糧を授け、忍耐するかアッラーの定めを憎む者になるかを試すために、お望みの者の糧を減少されるという試練だと知らずに？糧の増減の中には、信仰する民に対するアッラーのご采配の印がある。なぜならかれらこそが、その印を役立てるのであり、不信仰者はそれに背を向けるからだ。

⑤④ 使徒よ、アッラーに対する多神や罪の限りを尽くしたわが僕たちに、言え。「アッラーの慈悲と、あなた方の罪の赦しに絶望してはならない。」アッラーは悔悟する者の全ての罪をお赦しになる。かれは悔悟する者の罪をお赦しになり、慈しまれるお方。

⑤⑤ 悔悟と善行によって、主に立ち返り、服従せよ。審判の日の罰があなた方に降りかかる前に。その時、偶像や家族があなた方を罰から救ってくれることはない。

⑤⑥ 主がその使徒に下した最良のものであるクルアーンに従い、その命令と禁止事項を守れ。あなた方に罰が突然降りかかり、悔悟でそれに備えることも出来なくなる前に。

⑤⑦ 審判の日、人はひどい後悔から、こう言う。「自分は不信仰や罪によってアッラーへの義務を怠っていたこと、信仰と服従の民を嘲笑していたことを、本当に後悔する。」

本諸節の功德:

- 不信仰者に対する恩恵は、着実に忍び寄る罰である。
- 被造物に対するアッラーの慈悲の偉大さ。
- 後悔が役に立つのは現世だけの話で、真摯な悔悟がある限りにおいてである。

أَوْ تَقُولَ لَوْ أَنَّ اللَّهَ هَدَانِي لَكُنْتُ مِنَ الْمُتَّقِينَ ﴿٥٧﴾ أَوْ تَقُولَ
 حِينَ تَرَى الْعَذَابَ لَوْ أَنَّ لِي كَرَّةً فَأَكُونَ مِنَ الْمُحْسِنِينَ ﴿٥٨﴾
 بَلَى قَدْ جَاءَ تَاكِءَ ابْنَتِي فَكَذَّبَتْ بِهَا وَأَسْتَكْبَرَتْ وَكُنْتَ
 مِنَ الْكَافِرِينَ ﴿٥٩﴾ وَيَوْمَ الْقِيَامَةِ تَرَى الَّذِينَ كَذَبُوعَلَى
 اللَّهِ وَجُوهُهُمْ مُسْوَدَةٌ أَلَيْسَ فِي جَهَنَّمَ مَثْوًى لِّلْمُتَكَبِّرِينَ ﴿٦٠﴾
 وَيُنَجِّي اللَّهُ الَّذِينَ اتَّقَوْا بِمِقَالَتِهِمْ لَّا يَمَسُّهُمُ السُّوءُ
 وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ ﴿٦١﴾ اللَّهُ خَلَقَ كُلَّ شَيْءٍ وَهُوَ عَلَى كُلِّ
 شَيْءٍ وَكِيلٌ ﴿٦٢﴾ لَهُ مَقَالِيدُ السَّمَاوَاتِ وَالْأَرْضِ وَالَّذِينَ
 كَفَرُوا بِعَايَاتِ اللَّهِ أُولَئِكَ هُمُ الْخَاسِرُونَ ﴿٦٣﴾ قُلْ
 أَغْيَرَ اللَّهُ تَأْمُرًا وَرَفَعْتُ أَعْبَادَ أَيُّهَا الْجَاهِلُونَ ﴿٦٤﴾ وَلَقَدْ
 أَوْحَى إِلَيْكَ وَإِلَى الَّذِينَ مِن قَبْلِكَ لَئِن أَشْرَكْتَ
 لَيَحْبَطَنَّ عَمَلُكَ وَلَتَكُونَنَّ مِنَ الْخَاسِرِينَ ﴿٦٥﴾ بَلِ
 اللَّهُ فَاعْبُدْ وَكُنْ مِنَ الشَّاكِرِينَ ﴿٦٦﴾ وَمَا قَدَرُوا اللَّهَ حَقَّ
 قَدْرِهِ وَالْأَرْضُ جَمِيعًا قَبْضَتُهُ يَوْمَ الْقِيَامَةِ وَالسَّمَاوَاتُ
 مَطْوِيَّاتٌ بِيَمِينِهِ سُبْحَانَهُ وَتَعَالَى عَمَّا يُشْرِكُونَ ﴿٦٧﴾

57) または、かれは定めを言い訳にして、こう言う。「アッラーがわたしを導いていたら、わたしはそのご命令と禁止事項を守り、敬虔な者となったのに。」

58) あるいは、罰を目にした時、切望してこう言う。「現世に戻って悔悟することが出来たら、善行者となるのに。」

59) 導きを望んでも、それは叶わない。あなたのもとにはわが印が届いたのに、あなたはそれを嘘よばわりし、高慢になった。あなたはアッラーとその印と使徒たちの否定者だったのだ。

60) あなたは審判の日、アッラーに共同者や子供があるとした捏造者たちの顔が、黒くなるのを見る。それは不幸の印。高慢にもアッラーとその使徒たちを信仰しなかった者たちの定住地は、地獄ではないのか？いや、そうなのである。

61) アッラーは、そのご命令と禁止事項を守ることで主を恐れていた者たちを罰から救い、天国という勝利の場に入れて下さる。かれらに罰が触れることはなく、現世で得られなかった幸運に悲しむこともない。

62) アッラーは全ての創造主であり、かれ以外に創造者はない。かれは全てを維持し、采配し、望みのままに行うお方。

63) かれにこそ、天地における財産の宝庫の鍵は属する。かれはそれらをお望みの者に授け、お望みの者から阻まれる。アッラーの印を否定する者たちこそは、損失者である。かれらは現世の生活では信仰から阻まれ、来世では永遠の地獄に入ることになるのだ。

64) 使徒よ、あなたを偶像崇拜へと誘惑する多神教徒たちに言え。「主に対して無知な者たちよ、あなた方はわたしアッラー以外のものを崇拜するよう命じるのか？アッラー以外に崇拜に値するものはない。わたしがかれ以外のものを崇拜することはない。」

65) 使徒よ、アッラーはあなたと、あなた以前の使徒たちに、こう啓示した。「もしあなたがアッラー以外のものを崇拜すれば、あなたの善行は台無しになる。そして現世では宗教の喪失によって、来世では罰によって、損失者となる。」

66) そうではなく、何も並べずにアッラーだけを崇拜せよ。自分に対するかれからの恩恵に、感謝深い者となるのだ。」

67) 多神教徒たちは、アッラーに無能で弱小な被造物を並べた時、本当の意味でアッラーを偉大視しなかった。審判の日、山々、木々、河川、海洋などを含む地上はアッラーに一掴みされ、7層の天はその右手によって折りたたまれるが、かれらはその力に対して不注意だった。多神教徒たちが言い、信じているようなことから、かれは無縁で崇高なお方。

本諸節の功德:

- 高慢さは、真理から阻む悪い性格である。
- 審判の日顔が黒くなることは、不幸の印である。
- 多神は善行を台無しにする。
- アッラーにとっての掴む行為、右手という属性。ただしそこにおいて、被造物との相似・比較を行ってはならない。

وَنُفِخَ فِي الصُّورِ فَصَعِقَ مَنْ فِي السَّمَوَاتِ وَمَنْ فِي الْأَرْضِ
 إِلَّا مَنْ شَاءَ اللَّهُ ثُمَّ نُفِخَ فِيهِ أُخْرَىٰ فَإِذَا هُمْ قِيَامٌ يَظُنُّونَ
 ٦٨ وَأَشْرَقَتِ الْأَرْضُ بِنُورِ رَبِّهَا وَوُضِعَ الْكِتَابُ وَجِئْنَا
 بِالنَّبِيِّينَ وَالشُّهَدَاءِ وَقُضِيَ بَيْنَهُم بِالْحَقِّ وَهُمْ لَا يُظْلَمُونَ
 ٦٩ وَوُفِّيَتْ كُلُّ نَفْسٍ مَّا عَمِلَتْ وَهُوَ أَعْلَمُ بِمَا يَفْعَلُونَ
 وَسِيقَ الَّذِينَ كَفَرُوا إِلَىٰ جَهَنَّمَ زُمَرًا ۖ حَتَّىٰ إِذَا جَاءَهُمْ
 فَتَحَتْ أَبْوَابُهَا وَقَالَ لَهُمْ خَزَنَتُهَا أَلَمْ يَأْتِكُمْ رُسُلٌ مِّنكُمْ
 يَتْلُونَ عَلَيْكُمْ آيَاتِ رَبِّكُمْ وَيُنذِرُونَكُمْ لِقَاءَ يَوْمِكُمْ
 هَذَا قَالُوا أَبْلَىٰ وَلَٰكِن حَقَّتْ كَلِمَةُ الْعَذَابِ عَلَى الْكَافِرِينَ
 ٧١ قِيلَ ادْخُلُوا أَبْوَابَ جَهَنَّمَ خَالِدِينَ فِيهَا فَبِئْسَ مَثْوَى
 الْمُتَكَبِّرِينَ ٧٢ وَسِيقَ الَّذِينَ اتَّقَوْا رَبَّهُمْ إِلَى الْجَنَّةِ
 زُمَرًا ۖ حَتَّىٰ إِذَا جَاءَهُمْ وَأُفْتُحَتْ أَبْوَابُهَا وَقَالَ لَهُمْ خَزَنَتُهَا
 سَلِّمُوا عَلَيْكُمْ رَبِّكُمْ فادخلوها خالدين ٧٣ وَقَالُوا
 الْحَمْدُ لِلَّهِ الَّذِي صَدَقْنَا وَعَدَّهُ وَأَوْرَثَنَا الْأَرْضَ
 نَدَبًا مِّنَ الْجَنَّةِ حَيْثُ نَشَاءُ فَنِعْمَ أَجْرُ الْعَامِلِينَ ٧٤

68) ラッパを吹く任務を課された天使が吹く日、天地のあらゆる者は息絶える。そして天使が復活のためのラッパをもう一度吹くと、全ての者は生き返り、立ち上がって見回すのだ。アッラーがこれからかれらに、何をやるのだからと。

69) 僕たちの裁決のために偉大なる主が出現し、大地は輝く。人々の行いの帳簿が開かれ、預言者たちが連れて来られる。ムハンマドの共同体は預言者たちの言葉に対する証言をするために連れて来られ、アッラーは全ての者を正義によって裁く。その日、かれらが不正を受けることはない。悪行を足されることも、善行を差し引かれることもない。

70) アッラーは善行であれ悪行であれ、全ての者の報いを全うする。アッラーはかれらの行いをご存知であり、善行も悪行も隠すことは出来ない。かれはその日、かれらにその行いで報いるのだ。

71) 天使たちはアッラーを否定した者たちを、惨めな集団として地獄に連れて来る。かれらが地獄にやってくると、その門番の天使たちが扉を開け、かれらを迎えて咎めつつ言う。「あなたの方のもとに、あなた方自身の内から使徒たちがやってくるは来なかったのか？そして啓示された主のアーヤをあなた方に読み、痛烈な罰のある審判の日の会見について、あなた方に警告しなかったのか？」不信仰者たちはそれを認めて、言う。「はい。確かにそうでした。でも罰の言葉が不信仰者たちに定められ、わたしたちは不信仰者だったのです。」

72) かれらに対して屈辱を与え、アッラーの慈悲と地獄からの脱出を絶望させるべく、こう言われる。「地獄の扉から入って、そこに永遠に住むがよい。真理に対して尊大だった者たちの定住地は、何と忌まわしいことか。」

73) そして天使たちは、そのご命令と禁止事項を守ることと主を恐れていた信仰者たちを、栄誉にあふれた集団として丁重に天国へ連れて来る。かれらが天国にやってくると扉は開けられ、その門番の天使たちは言う。「あなた方はあらゆる悪と、あなた方が嫌う全ての物事から安全である。あなた方の心も行いもよいものだった。天国に入り、永遠にそこに留まるがよい。」

74) 信仰者たちは天国に入ると、言う。「使徒たちの言葉を通して約束したことを、わたしたちに実現して下さいアッラーに、称賛あれ。かれはわたしたちに天国を約束し、天国の地を引き継がせて下さいました。わたしたちは天国の、どこでも望む場所に住むことが出来ます。」主のお顔を求めて善行を行う勤行者たちの褒美は、何と素晴らしいことか。

本諸節の功德:

- ラッパが二度吹かれることの確実なこと
- 不信仰者が受ける屈辱と、信仰者が頂く栄誉の説明。
- 不信仰者は地獄に、信仰者は天国に永遠に留まることの確証。
- 善い行いは、善い報いをもたらす。

وَتَرَى الْمَلَائِكَةَ حَافِينَ مِنْ حَوْلِ الْعَرْشِ يُسَبِّحُونَ بِحَمْدِ رَبِّهِمْ وَقُضِيَ بَيْنَهُم بِالْحَقِّ وَقِيلَ الْحَمْدُ لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ﴿٧٥﴾

سُورَةُ غَافِرٍ ﴿٧٥﴾

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

حَمَّ ﴿١﴾ تَزِيلُ الْكِتَابِ مِنَ اللَّهِ الْعَزِيزِ الْعَلِيمِ ﴿٢﴾ غَافِرِ الذَّنْبِ وَقَابِلِ التَّوْبِ شَدِيدِ الْعِقَابِ ذِي الطَّوْلِ لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ إِلَهٌ لَمُصِيبٌ ﴿٣﴾ مَا يَجِدُ فِي آيَاتِ اللَّهِ إِلَّا الَّذِينَ كَفَرُوا فَلَا يَعْرُوكُ تَقْلُدُهُمْ فِي الْبِلَادِ ﴿٤﴾ كَذَّبَتْ قَبْلَهُمْ قَوْمُ نُوحٍ وَالْأَحْرَابُ مِنْ بَعْدِهِمْ وَهَمَّتْ كُلُّ أُمَّةٍ بِرَسُولِهِمْ لِيَأْخُذُوهُ وَجَدُوا بِآيَاتِنَا لِلْبَاطِلِ يُدْحِضُونَ إِيَّاهِ الْحَقَّ فَأَخَذْنَاهُمْ فَكَيْفَ كَانَ عِقَابِ ﴿٥﴾ وَكَذَلِكَ حَقَّتْ كَلِمَتُ رَبِّكَ عَلَى الَّذِينَ كَفَرُوا أَنَّهُمْ أَصْحَابُ النَّارِ ﴿٦﴾ الَّذِينَ يَجْمَلُونَ الْعَرْشَ وَمَنْ حَوْلَهُ يُسَبِّحُونَ بِحَمْدِ رَبِّهِمْ وَيُؤْمِنُونَ بِهِ وَيَسْتَغْفِرُونَ لِلَّذِينَ ءَامَنُوا رَبَّنَا وَسِعْتَ كُلَّ شَيْءٍ رَحْمَةً وَعِلْمًا فَاغْفِرْ لِلَّذِينَ تَابُوا وَاتَّبَعُوا سَبِيلَكَ وَقِهِمْ عَذَابَ الْجَحِيمِ ﴿٧﴾

المؤمنين
٧٧

40. 赦すお方章(ガーフィル)

マッカ啓示

本章の趣旨:

アッラーの印について議論する者たちの状態とそれへの対応

説明:

①「ハー・ミーム」については、雌牛章冒頭に同様のアーヤの説明あり。

②使徒ムハンマド(アッラーの祝福と平安を)に下されたクルアーンの啓示は、アッラーからのもの。かれは誰にも制圧されない偉大なお方であり、僕たちの福利についてご存知のお方。

③かれは罪を犯す者たちの罪を赦し、悔悟する僕たちの悔悟を受け入れるお方。罪に対して悔悟しない者には罰が厳しく、善行と恩恵の主でもある。かれの他に崇拜すべきものはない。かれのもとにこそ審判の日の僕たちの戻り場所があり、かれはかれらにふさわしい報いを与える。

④アッラーの唯一性と使徒たちの正直さを示すかれ

の印について議論するのは、理性上の問題のためにアッラーを否定する者たちだけ。だから、かれらに関して悲しんではならないし、豊かな糧と恩恵を授かった者たちに欺かれてはならない。かれらに罰がまだ訪れないのは、それがじわじわと迫り来る策略だからなのだ。

⑤かれら以前、ヌーフの民が嘘よばわりした。そしてヌーフの民の後には、アード、サムード、ルートの民、マドゥヤンの人々といった党派や、フィルアウンが嘘よばわりした。全ての民はその使徒を捕らえて殺そうとし、虚妄による議論で真理を消し去ろうとしたので、われはそれらの民を全て滅ぼしたのだ。かれらに対するわが厳罰を、熟慮するがよい。

⑥使徒よ、嘘呼ばわりしたそれらの民の滅亡をアッラーが決定したのと同様、不信仰者たちが地獄の徒となるという、あなたの主の言葉は確定したのだ。

⑦使徒よ、主の玉座を運び、かれのまわりに待る天使たちは、かれをかれにふさわしくない物事から無縁で崇高な存在として称え、かれを信じる。また、アッラーを信じる者たちのために罪の赦しを請い、祈てこう言う。「主よ、あなたの知識と慈悲は全てのものに及びます。罪を悔悟し、あなたの宗教に従う者たちを赦し、かれらに地獄の炎が触れないようにして下さい。」

本諸節の功德:

- アッラーの慈悲への希望と、かれの厳しい罰への恐怖を両立させることが、理想的な手法である。
- アッラーをその唯一性でもって称え、讃美するのは、祈りの際の作法である。
- 信仰者はアッラーのもとで大切な存在である。アッラーは天使たちがかれらのために、罪の赦しを請うようにさせた。

رَبَّنَا وَأَدْخِلْهُمْ جَنَّاتٍ عَدْنٍ الَّتِي وَعَدْتَهُمْ وَمَنْ صَلَحَ مِنْ آبَائِهِمْ وَأَزْوَاجِهِمْ وَذُرِّيَّاتِهِمْ إِنَّكَ أَنْتَ الْعَزِيزُ الْحَكِيمُ ﴿٨﴾ وَقِهِمُ السَّيِّئَاتِ وَمَنْ تَقِ السَّيِّئَاتِ يَوْمَئِذٍ فَقَدْ رَحِمْتَهُ وَذَلِكَ هُوَ الْفَوْزُ الْعَظِيمُ ﴿٩﴾ إِنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا يُنَادُونَ لِمَقْتُ اللَّهِ أَكْبَرُ مِنْ مَقْتِكُمْ أَنْفُسَكُمْ إِذْ تُدْعَوْنَ إِلَى الْإِيمَانِ فَتَكْفُرُونَ ﴿١٠﴾ قَالُوا رَبَّنَا أَمَتْنَا اثْنَتَيْنِ وَأَخْيَبْتَنَا اثْنَتَيْنِ فَاعْتَرَفْنَا بِذُنُوبِنَا فَهَلْ إِلَى خُرُوجٍ مِنْ سَبِيلٍ ﴿١١﴾ ذَلِكُمْ بِأَنَّهُ إِذَا دُعِيَ اللَّهُ وَحْدَهُ كَفَرْتُمْ وَإِنْ يُشْرَكَ بِهِ تَوَلَّيْتُمْ فَأَلْحِكُمْ لِلَّهِ الْعَلِيِّ الْكَبِيرِ ﴿١٢﴾ هُوَ الَّذِي يُرِيكُمُ آيَاتِهِ وَيُنَزِّلُ لَكُمْ مِنَ السَّمَاءِ رِزْقًا وَمَا يَتَذَكَّرُ إِلَّا مَنْ يُنِيبُ ﴿١٣﴾ فَادْعُوا اللَّهَ مُخْلِصِينَ لَهُ الدِّينَ وَلَوْ كَرِهَ الْكَافِرُونَ ﴿١٤﴾ رَفِيعَ الدَّرَجَاتِ ذُو الْعَرْشِ يُلْقِي الرُّوحَ مِنْ أَمْرِهِ عَلَى مَنْ يَشَاءُ مِنْ عِبَادِهِ لِيُنْذِرَ يَوْمَ التَّلَاقِ ﴿١٥﴾ يَوْمَ هُمْ بَدْرُؤٌ لَا يُخْفَى عَلَى اللَّهِ مِنْهُمْ شَيْءٌ لِمَنِ الْمُلْكُ الْيَوْمَ لِلَّهِ الْوَاحِدِ الْقَهَّارِ ﴿١٦﴾

⑧ 天使たちは言う。「主よ、信仰者たちを、あなたがかれらに約束した永遠の天国に入れて下さい。また、行いの良かったかれらの先祖、配偶者、子孫たちも、かれらと一緒にに入れて下さい。あなたは誰にも制圧されない偉大なお方、定めと采配において英知あふれるお方です。

⑨ また、かれらを悪行から守り、かれらが罰されないようにして下さい。審判の日に悪行の罰からあなたがお守りになる者こそは、あなたの慈悲を授かった者。罰からの無事、天国に入ることによる慈悲こそは、最上の勝利です」。

⑩ アッラーとその使徒たちを否定した者たちは、審判の日に地獄に入り、自分自身を嫌悪して呪うが、その時にこう呼びかけられる。「アッラーのあなた方に対する激しい憎悪は、あなた方の自分自身に対する激しい憎悪よりも、更に偉大である。あなた方は現世でアッラーの信仰へと招かれていたのに、それを否定し、**かれ**に他の神々を並べていたのだから。」

⑪ その時になれば罪の自認も悔悟も役には立たないが、不信仰者たちは自分たちの罪を認め、こう言う。「主よ、あなたはわたしたちを二度死なせました。あなたは無からわたしたちを存在させ、その後私たちに死なせました。また、あなたはわたしたちを無から存在させ、復活のために生を与えることで、二度生かしました。わたしたちは犯した罪を認めました。だから、地獄から脱出し、行いを正してあなたのお喜びを得るために、人生をやり直す手立てはありますか?」

⑫ あなた方が罰されているその罰の原因は、アッラーだけが何も並べられることなく祈られた時には、**かれ**を否定して共同者を置き、アッラーと共に他のものが崇拜された時には、それを信じたからだ。裁決は、その属性と定めと力において至高で、何よりも大きいお方であるアッラーにのみ属する。

⑬ アッラーはその印を彼方に、そしてあなた方自身の内において、あなた方に見せるが、それはあなた方に**かれ**の力と唯一性を示すため。また**かれ**は、あなた方に天から雨水を降らせるが、それは植物や農作物などあなた方の糧の原因となる。アッラーの印から教訓を得るのは、**かれ**に悔悟して至誠を尽くして立ち返る者のみ。

⑭ 信仰者たちよ、だから服従行為と祈りにおいて何も並べることなく、アッラーだけに誠実に祈れ。たとえそれが不信仰者たちを厭わせ、怒らせることになっても。

⑮ **かれ**は服従行為と祈りを誠実に向けられるに、ふさわしいお方。**かれ**は全ての被造物とは明白に異なる、高い位のお方であり、偉大なる玉座の主。お望みになる僕たちに啓示を下し、それによってかれら自身は生を授かり、かれら以外の者たちにも生を与える。またかれらは、最初の者たちと最後の者たちが会うことになる審判の日について、人々に警告をする。

⑯ その日かれらは一つの地に集まり、あらわになる。アッラーから隠れられる者はなく、かれら自身も、かれらの行いもその報いも、隠すことは出来ない。「この日、王権は誰に属するのか?」と尋ねられるが、答えはただ一つ。「王権はただアッラーにだけ属する。」**かれ**はその本質、属性、行いにおいて唯一で、全てを制圧し従えさせる強力なお方。

本諸節の功德:

- 悔悟が受け入れられるのは、現世だけ。
- 訓戒は、主に悔悟する者たちのみに届く。
- 信仰者が正しく確立していれば、宗教を拒否する不信仰者の言動に影響されることはない。
- 審判の日、いかなる暴君や不正を行う王も、アッラーに服従することになる。

سورة غافر
الجزء الرابع
٤٦٩

الْيَوْمَ نُجْزِي كُلَّ نَفْسٍ بِمَا كَسَبَتْ لَا ظُلْمَ الْيَوْمَ إِنَّ
 اللَّهَ سَرِيعُ الْحِسَابِ ﴿١٧﴾ وَأَنْذَرْتَهُمْ يَوْمَ الْأَرْزَاقِ إِذْ أَلْقَوْهُ
 لَدَى الْحَنَاجِرِ كَظْمِينَ مَالٍ لِلظَّالِمِينَ مِنْ حَمِيمٍ وَلَا شَفِيعَ
 يُطَاعُ ﴿١٨﴾ يَعْلَمُ خَائِنَةَ الْأَعْيُنِ وَمَا تُخْفِي الصُّدُورُ ﴿١٩﴾ وَاللَّهُ
 يَقْضِي بِالْحَقِّ وَالَّذِينَ يَدْعُونَ مِنْ دُونِهِ لَا يَقْضُونَ
 بِشَيْءٍ إِنَّ اللَّهَ هُوَ السَّمِيعُ الْبَصِيرُ ﴿٢٠﴾ أَوْ لَمْ يَسِيرُوا فِي
 الْأَرْضِ فَيَنْظُرُوا كَيْفَ كَانَ عَاقِبَةُ الَّذِينَ كَانُوا مِنْ قَبْلِهِمْ
 كَانُوا هُمْ أَشَدَّ مِنْهُمْ قُوَّةً وَءَانَارًا فِي الْأَرْضِ فَأَخَذَهُمُ اللَّهُ
 بِذُنُوبِهِمْ وَمَا كَانَ لَهُمْ مِنَ اللَّهِ مِنْ وَاقٍ ﴿٢١﴾ ذَلِكَ بِأَنَّهُمْ
 كَانَتْ تَأْتِيهِمْ رُسُلُهُمْ بِالْبَيِّنَاتِ فَكَفَرُوا فَأَخَذَهُمُ اللَّهُ
 إِنَّهُ قَوِيٌّ شَدِيدُ الْعِقَابِ ﴿٢٢﴾ وَلَقَدْ أَرْسَلْنَا مُوسَى بِآيَاتِنَا
 وَسُلْطَانٍ مُبِينٍ ﴿٢٣﴾ إِلَى فِرْعَوْنَ وَهَامَانَ وَقَدَرُونَ
 فَقَالُوا سِحْرٌ كَذَابٌ ﴿٢٤﴾ فَلَمَّا جَاءَهُمْ بِالْحَقِّ مِنْ
 عِنْدِنَا قَالُوا اقْتُلُوا أَبْنَاءَ الَّذِينَ آمَنُوا مَعَهُ وَاسْتَحْيُوا
 نِسَاءَهُمْ وَمَا كَيْدُ الْكَافِرِينَ إِلَّا فِي ضَلَالٍ ﴿٢٥﴾

17) その日、全ての者は善行には善行、悪行には悪行と、自分がした行いで報われる。その日、裁き手は公正なるアッラーであるから、不正はない。アッラーは僕たちのことを熟知しておられ、清算が速いお方。

18) 使徒よ、かれらに審判の日について警告せよ。審判はやって来ているのであり、全てのやって来るものは近いのだ。その日、余りの恐怖のために心臓は喉元にまで達し、慈悲あまねきお方が許した者以外に話す者はなく、沈黙している。多神と罪によって自らに不正を犯す者たちには友人も近親もなく、従われる執り成し手もない。

19) アッラーは、目がこっそりと見るものも、胸の内に隠すものもご存知。かれには何も隠すことは出来ない。

20) アッラーは正義でもって裁き、善行を減らしたり悪行を足したりして不正を行うことはない。多神教徒たちがアッラーをよそに崇拝しているものは、そもそも何も所有してはならず、何を裁くことも出来ない。アッラーは僕たちの言葉を聞き、かれらの意図や行いをご覧になり、それに報われるお方。

21) かれら多神教徒たちは地上を歩き、かれら以前の嘘呼ばわりした民の末路について熟考しなかったのか？かれらの末路は、ひどいものだった。しかもかれらはより力が強く、地上でより多くの建設を行っていたのだが、アッラーはかれらの罪深さのためにかれらを滅亡させたのだ。かれらはアッラーからの罰を防ぐことは出来なかった。

22) かれらに罰が下ったのは、使徒たちがアッラーのもとから明白な証拠を持って来ても、アッラーを否定し、使徒たちを嘘呼ばわりしたからである。そしてアッラーはかれらの強力さにも関わらず、かれらを捉えて滅亡させたのだ。かれは強力で、かれを否定し、使徒たちを嘘呼ばわりする者たちに対し、罰の厳しいお方。

23) われらは明白な根拠と決定的証拠と共に、ムーサーを遣わした。

24) フィルアウンとその片腕であるハーマーンと共に、カールーンのもとへ。するとかれらは言った。「ムーサーは自分が使徒だなどと言っている、嘘つきの魔術師である。」

25) ムーサーが、かれの正しさを示す証拠と共にかれらのもとに到来した時、フィルアウンは言った。「かれと共に信じた者たちを殺し、女たちは生かしておいて、辱めよ。」だが、信仰者の数を減らすという不信仰者たちの企みは、跡形もなく消え失せるのだ。

本諸節の功德:

- 審判の日についての警告は、罪に対する最大の抑止となること
- アッラーは隠れたものも公のものも、僕たちの行いを熟知している。
- 滅亡した多神教徒たちの状況から教訓を得るため、地上を旅することの命令。

وَقَالَ فِرْعَوْنُ ذُرِّيَّتِي أَقْتُلْ مُوسَى وَلْيَدْعُ رَبَّهُ إِنِّي أَخَافُ
 أَنْ يُبَدِّلَ دِينَكُمْ أَوْ أَنْ يُظْهِرَ فِي الْأَرْضِ الْفَسَادَ ﴿٦٦﴾
 وَقَالَ مُوسَى إِنِّي عُذْتُ بِرَبِّي وَرَبِّكُمْ مِنْ كُلِّ مُتَكَبِّرٍ لَا يُؤْمِنُ
 بِيَوْمِ الْحِسَابِ ﴿٦٧﴾ وَقَالَ رَجُلٌ مُؤْمِنٌ مِنْ آلِ فِرْعَوْنَ
 يَكْتُمُ إِيمَانَهُ أَتَقْتُلُونَ رَجُلًا أَنْ يَقُولَ رَبِّيَ اللَّهُ وَقَدْ
 جَاءَكُمْ بِالْبَيِّنَاتِ مِنْ رَبِّكُمْ وَإِنْ يَكُ كَذِبًا فَعَلَيْهِ
 كَذِبُهُ وَإِنْ يَكُ صَادِقًا يُصِيبْكُمْ بَعْضُ الَّذِي يَعِدُكُمْ
 إِنَّ اللَّهَ لَا يَهْدِي مَنْ هُوَ مُسْرِفٌ كَذَابٌ ﴿٦٨﴾ يَقَوْمَ لَكُمْ
 الْمَلَكُ الْيَوْمَ ظَاهِرِينَ فِي الْأَرْضِ فَمَنْ يَنْصُرُنَا مِنْ بَأْسِ اللَّهِ
 إِنْ جَاءَنَا قَالَ فِرْعَوْنُ مَا أُرِيكُمْ إِلَّا مَا أَرَى وَمَا أَهْدِيكُمْ
 إِلَّا سَبِيلَ الرَّشَادِ ﴿٦٩﴾ وَقَالَ الَّذِينَ آمَنُوا يَقَوْمِ إِنِّي أَخَافُ
 عَلَيْكُمْ مِثْلَ يَوْمِ الْأَحْزَابِ ﴿٧٠﴾ مِثْلَ دَابِ قَوْمِ نُوحٍ وَعَادٍ
 وَثَمُودَ وَالَّذِينَ مِنْ بَعْدِهِمْ وَمَا اللَّهُ يُرِيدُ ظَلْمًا لِلْعِبَادِ ﴿٧١﴾
 وَيَقَوْمِ إِنِّي أَخَافُ عَلَيْكُمْ يَوْمَ التَّنَادِ ﴿٧٢﴾ يَوْمَ تُؤَلَّفُونَ
 مَدْبَرِينَ مَا لَكُمْ مِنَ اللَّهِ مِنْ عَاصِمٍ وَمَنْ يُضْلِلِ اللَّهُ فَمَا لَهُ مِنْ هَادٍ ﴿٧٣﴾

②⑥ フィルアウンは言った。「ムーサーを、かれへの罰として殺そう。かれには自分の主に祈って、わたしからの救いを求めさせるがよい。かれがかれの主に祈ろうが、わたしには関係ない。わたしはかれが、あなた方の宗教を変えてしまったり、殺害や破壊で地上に悪を広めたりすることを恐れるのだ。」

②⑦ ムーサーはフィルアウンからの脅迫を知ると、言った。「わたしはわたしとあなた方の主に、真理とその信仰を高慢にも拒否し、清算や罰を含む審判の日を信じないあらゆる者からのご加護を求める。」

②⑧ 民に信仰を隠していた、アッラーを信じる一人の男が、ムーサー殺害の決定を非難して、こう言った。「わが主はアッラーと言っているだけで罪もない男を、あなた方は殺そうとするのか？かれは、自分が主から遣わされた使徒であることの正しさを示す、明らかな証拠を持って来たというのに？もしかれが嘘つきだったとしても、嘘の害は自分に戻ってくるだけ。しかしかれが正直者だったら、かれがあなた方に約束している罰は、あなた方に遅からず降りかかるだろう。アッラーはかれの法を超え、かれとかれの使徒たちに対して嘘をつく者を、真理へと導きにはならないのだ。」

②⑨ わが民よ、今日あなた方はエジプトの地で権勢をふるい、王権もある。だがムーサーを殺害したことが原因でアッラーからの罰が到来したら、誰がわたしたちを救ってくれるのか？」フィルアウンは言った。「意見はわが意見、決定はわが決定。わたしの意見はムーサーを殺すことであり、それは悪を防ぐためだ。わたしはあなた方を正しく導いているだけである。」

③⑩ 信仰者は民に忠言して言った。「ムーサーを不正と侵害によって殺害したなら、わたしはあなた方に、過去に使徒たちに敵対した党派を襲ったような罰を恐れる。かれらはアッラーに滅ぼされたのだ。」

③⑪ それはヌーフの民、アード、サムード、その後到来した者たちのように、不信仰に陥り、使徒たちを嘘呼ばわりした者たちの習いである。アッラーはその不信仰と使徒たちへの嘘よばわりのために、かれらを滅ぼした。アッラーが僕たちに不正を望めるのではない。ただかれらの罪に対する相応しい報いとして、かれらを罰されるのである。

③⑫ わが民よ、わたしはあなた方に対して審判の日を恐れる。その日、人々はその恐ろしい状況において、近親関係や地位が役立つものと思い、互いに呼び合う。

③⑬ その日、あなた方は業火を恐れて逃げ惑う。だが、あなた方をアッラーの罰から防いでくれるものはない。アッラーが見捨て、信仰へと導かれなかった者に、導き手はいない。最終的な導きはアッラーだけが有する。

本諸節の功德:

- 信仰者は敵の策略に対し、主にご加護を求める。
- 大きな福利の実現、または悪の防止のために信仰を隠すことの合法性。
- 人々への忠告は信仰者の特徴である。

وَلَقَدْ جَاءَ كُرْيُوسُفُ مِنْ قَبْلِ بِالْبَيِّنَاتِ فَمَا زِلْتُمْ فِي
شَكِّكُمْ مِمَّا جَاءَكُمْ بِهِ حَتَّى إِذَا هَلَكَ قُلْتُمْ لَنْ يَبْعَثَ اللَّهُ
مِنْ بَعْدِهِ رَسُولًا كَذَلِكَ يُضِلُّ اللَّهُ مَنْ هُوَ مُسْرِفٌ
مُتْرَابٌ ﴿٢٥﴾ الَّذِينَ يُجَادِلُونَ فِي آيَاتِ اللَّهِ بِغَيْرِ سُلْطَانٍ
أَتَتْهُمْ كَقُرْمَتٍ مَقْتًا عِنْدَ اللَّهِ وَعِنْدَ الَّذِينَ ءَامَنُوا كَذَلِكَ
يَطْبَعُ اللَّهُ عَلَى كُلِّ قَلْبٍ مُتَكَبِّرٍ جَبَّارٍ ﴿٢٦﴾ وَقَالَ فِرْعَوْنُ
يَهْتَمُنْ ابْنَ لِي صَرَحًا لَعَلِّي أَبْلُغُ الْأَسْبَابَ ﴿٢٧﴾ أَسْبَابَ
السَّمَوَاتِ فَأَطَّلِعُ إِلَى آلِهَةِ مُوسَى وَإِنِّي لَأَظُنُّهُ كَذِبًا
وَكَذَلِكَ زُيِّنَ لِفِرْعَوْنَ سُوءَ عَمَلِهِ وَصَدَّ عَنِ السَّبِيلِ
وَمَا كَيْدُ فِرْعَوْنَ إِلَّا فِي تَبَابٍ ﴿٢٨﴾ وَقَالَ الَّذِينَ ءَامَنُ
يَلْقَوْنَ آتِيَعُونَ أَهْدِكُمْ سَبِيلَ الرَّشَادِ ﴿٢٩﴾ يَكْفَوْنِ
إِنَّمَا هَذِهِ الْحَيَاةُ الدُّنْيَا مَتَعٌ وَإِنَّ الْآخِرَةَ هِيَ
دَارُ الْقَرَارِ ﴿٣٠﴾ مَنْ عَمِلَ سَيِّئَةً فَلَا يُجْرَى إِلَّا مِثْلَهَا
وَمَنْ عَمِلَ صَالِحًا مِنْ ذَكَرٍ أَوْ أَنْثَى وَهُوَ مُؤْمِنٌ فَأُولَئِكَ
يَدْخُلُونَ الْجَنَّةَ يُرْزَقُونَ فِيهَا بِغَيْرِ حِسَابٍ ﴿٣١﴾

②4 あなた方のもとにはムーサー以前、アッラーの唯一性を示す明証と共にユースフが到来した。だがあなた方はまだ、かれが伝えたものに疑念を抱き、嘘呼ばわりしている。かれが亡くなった後も疑念をつのらせ、こう言ったのだ。「アッラーがかれの後に、使徒を遣わすことはない。」あなた方がこのように真理から迷ったように、アッラーはかれの法を超え、その唯一性に疑いを持つ者を迷わせるのである。

②5 アッラーの印を虚妄とするため、いかなる根拠もなく議論する者たちの議論は、アッラーのもとで、そして信仰者たちと使徒たちのもとで、大変な怒りを買うのである。アッラーは、そのような者たちの心を封じるように、真理に対して高慢になる全ての者の心を封じてしまうのだ。それらの者は正しさへも、よいことへも導かれることがない。

②6 フィルアウンは大臣ハーマーンに言った。「ハーマーンよ、わたしのために高い建物を建てよ。わたしが道に到達できるように。」

②7 天へと続く道へと到達し、ムーサーが真に崇拝すべき存在としているものを見るができるように。わたしはムーサーが嘘の主張をしていると思う。」こうしてハーマーンに命令している時、フィルアウンには悪事が輝かしく見えたのであり、かれは真理から迷いへと傾いたのだ。自分の虚妄を勝利させ、ムーサーがもたらした真理を無に帰そうというフィルアウンの企みは、損失でしかなかった。なぜならかれの行き先は、かれの試みにおける失望と挫折であり、永遠の不幸だからである。

②8 フィルアウンの民の内の信仰した男は民に忠告し、真理への道へと招いて言った。「わが民よ、わたしに従え。そうすればわたしはあなた方を正しさと、真理への導きへと連れて行こう。」

②9 わが民よ、現世の生活は終わりある享楽に過ぎない。だから、消え去る楽しみに欺かれてはならない。来世の安寧は途切れることなく永続する、安住と永遠の世界なのだ。そのためにアッラーへの服従行為を行え。来世のための行いを放ったらかしにして、現世の生活にうつつを抜かしているようではない。

③0 悪行を一つ行った者は、行ったのと同等のものでしか罰されず、それ以上のものでは罰されない。アッラーとその使徒たちを信じ、かれの顔を求めて善行を行った者は男女を問わず、審判の日に天国に入る。アッラーはそこでかれらに果実や、永遠に途切れることのない安寧を、制限なく授けて下さる。

本諸節の功德:

- 真理を無に帰し、虚妄を勝利させるための議論は、悪い兆候であり、迷妄の徒の特徴である。
- 高慢さは真理への導きを阻む。
- 真理を無に帰そうとする不信仰者たちの悪巧みは、頓挫する。
- 来世のために準備し、それを蔑ろにして現世に勤しまないことの義務。

* وَيَقُولُ مَا لِيَ اَدْعُوكُمْ اِلَى التَّجْوِهِ وَتَدْعُونِي اِلَى النَّارِ
 ٤١ تَدْعُونِي لِاَكْفُرَ بِاللّٰهِ وَاَشْرِكَ بِهِ مَا لَيْسَ لِي بِهِ
 عِلْمٌ وَاَنَا اَدْعُوكُمْ اِلَى الْعَرِيزِ الْغَضْرِبِ ٤٢ لَا جَرَمَ اَنَّمَا
 تَدْعُونِي اِلَيْهِ لَيْسَ لَهُ دَعْوَةٌ فِي الدُّنْيَا وَلَا فِي الْاٰخِرَةِ
 وَاَنْ مَرَدَّنَا اِلَى اللّٰهِ وَاَنْتَ الْمُسْرِفِيْنَ هُمْ اَصْحَابُ النَّارِ
 ٤٣ فَسْتَذَكَّرُوْنَ مَا اَقُولُ لَكُمْ وَاَقْوَضُ اَمْرِي اِلَى اللّٰهِ
 اِنَّ اللّٰهَ بَصِيْرٌ بِالْعِبَادِ ٤٤ فَوَقَدَهُ اللّٰهُ سَيِّئَاتٍ مَّا مَكْرُوًّا
 وَحَاقَ بِهَا لِقَالِ فِرْعَوْنَ سُوءَ الْعَذَابِ ٤٥ النَّارُ يُعْرَضُونَ
 عَلَيْهَا عُدُوًّا وَعَشِيًّا وَيَوْمَ تَقُومُ السَّاعَةُ اَدْخُلُوْا اِلَآ
 فِرْعَوْنَ اَشَدَّ الْعَذَابِ ٤٦ وَاِذْ يَتَحَاجَّوْنَ فِي النَّارِ
 فَيَقُوْلُ الضُّعْفَلُوْا لِلَّذِيْنَ اَسْتَكْبَرُوْا اِنَّا كُنَّا لَكُمْ
 تَبَعًا فَهَلْ اَنْتُمْ مُّعْتَدُونَ عَنَّا نَصِيْبًا مِّنَ النَّارِ ٤٧ قَالَ
 الَّذِيْنَ اَسْتَكْبَرُوْا اِنَّا كُنَّا فِيْهَا اِنْ اللّٰهُ قَدْ حَكَمَ
 بَيْنَ الْعِبَادِ ٤٨ وَقَالَ الَّذِيْنَ فِي النَّارِ لِيُخْزِنَ جِهَتَهُمْ
 اَدْعُوْا رَبَّكُمْ يُخَفِّفْ عَنَّا يَوْمًا مِّنَ الْعَذَابِ ٤٩

41 わが民よ、わたしはあなた方を、アッラーへの信仰と善行によって、現世と来世における損失から救いへと招いている。なのに、あなたがわたしを、アッラーに対する不信仰と罪へと招くことによって、地獄に入ることへと招くのはどうしたのか？

42 あなた方は、わたしがアッラーを否定し、**かれ**と共に崇拜することの正しさが分からないようなものを**かれ**に並べて崇拜することを望んで、わたしを虚妄へと招いている。わたしはあなた方を、アッラーへの信仰へと招いている。**かれ**は誰にも制圧されない偉大なお方であり、僕たちに対し大変赦し深いお方。

43 あなた方がわたしに信じさせ、従わせようと招いているものは、現世においても来世においても真に祈られるべき祈願など有してはならず、祈願に応じてもくれない。そしてわたしたち全員の帰りは、アッラーだけなのだ。不信仰と罪に溺れる者たちは地獄の民であり、審判の日、そこにずっと居続けることになる。」

44 かれらは、かれ(信仰者)の忠告を拒んだ。それでかれは言った。「あなた方はわたしの忠告を思い出し、それを受け入れなかったことを後悔することになろう。わたしは全ての物事をアッラーに任せる。アッラーは僕たちのいかなる行いも、見過ごされない。」

45 こうしてアッラーは、かれらがかれ(信仰者)を殺害しようとした時、かれをかれらの悪い企みから守った。そしてフィルアウンの一族を溺死の罰が襲い、アッラーは現世において、かれとその軍勢を皆溺れさせたのである。

46 かれらは死後、墓の中で昼の始めと終わりに炎に晒される。そして審判の日には、こう言われるのだ。「フィルアウンの追随者たちを、最も厳しい罰に放り込め。かれらが犯していた不信仰と嘘よばわりと、アッラーの道の妨害のためである。」

47 使徒よ、地獄の民である指導者たちと追随者たちが、言い争う時のことを思い出させよ。抑圧されていた追随者たちは、高慢だった指導者たちに言う。「わたしたちは現世で、迷いにおいてあなた方に従っていた。だからあなた方は、アッラーの罰の一部をわたしたちから取り除き、肩代わりしてはくれないだろうか?」

48 高慢だった指導者たちは言う。「追随者であろうと指導者であろうと、わたしたちは地獄の中。誰も他人の罰の一部を肩代わりは出来ない。アッラーはもう僕たちの間に判決を下し、それに相応しい者全てに罰を下したのだ。」

49 地獄の民である追随者たちと指導者たちは、地獄から脱出して悔悟すべく現世に戻れないことに絶望すると、地獄の番人である天使たちに言う。「このずっと続く罰を、一日だけ軽減してくれるよう、主に祈ってくれ。」

本諸節の功德:

- アッラーに依拠することの重要性。
- 真理へと招く者が、敵の策略から助かること。
- 墓場での罰の確証。
- 不信仰者はたとえ僅かな時間でも、地獄から安らぐことが出来たらと望む。しかしそれは絶対に叶わない。

قَالُوا أَوْلَمَ تَك تَأْتِيكُمْ رُسُلُكُمْ بِالْبَيِّنَاتِ قَالُوا بَلَىٰ
 قَالُوا فَادْعُوا وَمَا دَعَا الْكٰفِرِينَ إِلَّا فِي ضَلٰلٍ ﴿٥٦﴾
 إِنَّا لَنَنْصُرُ رُسُلَنَا وَالَّذِينَ ءَامَنُوا فِي الْحَيٰوةِ الدُّنْيَا
 وَيَوْمَ يَقُومُ الْأَشْهَادُ ﴿٥٧﴾ يَوْمَ لَا يَنْفَعُ الظَّالِمِينَ مَعٰذِرُهُمْ
 وَلَهُمُ اللَّعْنَةُ وَلَهُمْ سُوءُ الدَّارِ ﴿٥٨﴾ وَلَقَدْ ءَاتَيْنَا مُوسَىٰ
 الْهُدَىٰ وَأَوْرَثْنَا بَنِي إِسْرٰءِيلَ الْكِتٰبَ ﴿٥٩﴾ هُدًى
 وَذَكَرَىٰ لِأُولَى الْأَلْبَابِ ﴿٦٠﴾ فَاصْبِرْ إِنَّا وَعَدَللَّهُ
 حَقٌّ وَأَسْتَغْفِرُ لَذُنُوبِكَ وَسَيِّح بِحَمْدِ رَبِّكَ بِالْعِشِيِّ
 وَالْإِبْكَرِ ﴿٦١﴾ إِنَّ الَّذِينَ يُجَدِّلُونَ فِي ءَايٰتِ اللَّهِ
 يَغَيِّرُ سُلْطٰنِنَ أَنفُسِهِمْ إِن فِي صُدُورِهِمْ إِلَّا كِبْرٌ
 مَّا هُمْ بِبٰلِغِيهِ فَاستَعِذْ بِاللَّهِ إِنَّهُ هُوَ السَّمِيعُ
 الْبَصِيرُ ﴿٦٢﴾ لَخَلَقُ السَّمٰوٰتِ وَالْأَرْضِ أَكْبَرُ مِن
 خَلْقِ النَّاسِ وَلَكِنَّ أَكْثَرَ النَّاسِ لَا يَعْلَمُونَ ﴿٦٣﴾
 وَمَا يَسْتَوِي الْأَعْمَىٰ وَالْبَصِيرُ وَالَّذِينَ ءَامَنُوا وَعَمِلُوا
 الصَّٰلِحٰتِ وَلَا الْمُنٰسِقِ ؕ قَلِيلًا مَّا تَذَكَّرُونَ ﴿٦٤﴾

⑤⑥ 地獄の番人たちは、不信仰者たちに答えて言う。「使徒たちがあなたの方のもとに、明証を持って来たのではないか？」不信仰者たちは言う。「その通り。かれらはわたしたちのもとに、明証を持ってやって来た。」番人たちは嘲って言う。「あなた方が祈るがいい。わたしたちは不信仰者の執り成し手ではない。」不信仰者たちの祈りは無意味である。かれらは不信仰のために、祈りが受け入れられない。

現世と来世におけるフィルアウンとかれの一族の結末、および使徒たちと信仰者たちの現世と来世における勝利が取りざたされた後、アッラーは言う。

⑤⑦ われらはわれらの使徒たちと、現世でアッラーとその使徒たちを信じた者たちを、その根拠の顕現と敵への援助によって勝利させる。そして審判の日には、かれらを天国に入れ、現世におけるかれらの論敵を地獄に入れて罰することで、かれらを勝利させる。それは預言者たち、天使たち、信仰者たちが、メッセージの伝達後にかれら(不信仰者たち)が嘘よばわりしたということ、証言した後のことである。

⑤⑧ 不信仰と罪で自らに不正を犯していた者たちに、不正の言い訳が役に立たないその日、かれらはアッラーの慈悲から放逐される。かれらには来世において、痛ましい罰を受けることになる醜悪な住処がある。

⑤⑨ われらはムーサーにイスラエルの民を真理へと導く知識を与え、律法をかれらが世代から世代へと引き継ぐ啓典とした。

⑥① それは真理の道への導きであり、正しい理性を備えた者たちへの教訓。

⑥④ 使徒よ、だからあなたが自分の民から受ける嘘よばわりや害悪に、忍耐せよ。勝利と支持というあなたへのアッラーの約束は、疑いない真理である。そして罪の赦しを請い、昼の始めと終わりに主を讃美し称えるのだ。

⑥⑥ アッラーの印を根拠なく無に帰させようと議論する者たちは、真理に対する高慢さと制圧のためにそうするのだ。だがかれらがそれを制圧することなど出来ない。使徒よ、だからアッラーに守りを求めよ。かれは僕たちの言葉を聞き、かれらの行いを余すことなくご覧になるお方。そしてそれに報われるお方である。

⑥⑦ 膨大かつ広大な天地の創造は、人間の創造より偉大である。その偉大なものを創造したお方は、死者を墓場から生き返らせ、清算して報いることがお出来のお方。だが多くの人々にはそれが分からず、そのことを熟慮もせず、復活の印とすることもない。

⑥⑧ 見えない者と見える者は同様でない。また、アッラーとその使徒たちを信じて善行を行う者と、誤った信念と罪によって悪い行いをする者は同様でない。あなた方は少ししか教訓を受けることがない。もし教訓を受けたのなら双方の違いを知り、信仰してアッラーのお喜びを得るために善行を行う者となっただろう。

本諸節の功德:

- アッラーから使徒たちと信仰者たちへの勝利は、不変の慣行である。
- 審判の日の不正者の言い訳は役に立たない。
- 虚妄と直面した際の忍耐の重要性。
- 天地の創造は復活の証拠である。偉大なものを創造できる者は、それ以下のものに生命を戻すことも可能だからである。

69 清算と報いのためにアッラーが死者を復活させる時は、疑念の余地なく必ず到来する。だが多くの人々はその到来を信じないので、そのために準備もしない。

60 人々よ、主はあなた方に言った。「われだけを崇拜し、われだけに頼みごとをせよ。そうすればわれはあなた方の祈りに応え、あなた方を赦し、慈悲をかけてやろう。われだけを崇拜することに対して高慢な者たちは、審判の日、惨めな姿で地獄に入ることになる。」

61 アッラーはあなた方のために夜を真っ暗にし、あなた方が安らぎ憩うようにさせたお方。また、あなた方が働けるように、昼を明るくさせたお方。アッラーは明らかな恩恵や密やかな恩恵によって人々に偉大な恩寵を授けたが、多くの人々は自分たちが授かっている恩恵に対し、かれに感謝しない。

62 その恩恵によってあなた方に恩寵を示すアッラーこそは、全ての創造主。かれ以外に創造者はなく、かれ以外に真に崇拜に値する存在はない。なのに、なぜあなた方はアッラーの崇拜から、何らの益も害も有しないものの崇拜へと去り行くのか？

63 アッラーの信仰とかれだけを崇拜することからかれらが逸らされたように、アッラーの唯一性を示す印を否定する者たちもまた、時代や場所を問わず、そこから逸らされる。真理にも正しさへも導かれることがない。

64 人々よ、アッラーはあなた方のために大地を、あなた方の安住に適した土地として下さった。天をあなた方の上空に精密に構築し、その崩落を防いで下さった。また、あなた方を母親の胎内で形成し、最良の形に整え、合法でよい食物の糧を授けて下さった。これらの恩恵をあなた方に授けて下さったお方こそ、あなた方の主アッラー。全被造物の主アッラーは祝福にあふれたお方であり、かれ以外の主は存在しない。

65 **かれ**は死ぬことのない永生のお方。**かれ**以外に真に崇拜すべき存在はない。だから**かれ**だけを崇拜し、**かれ**だけに頼みごとをすべく祈れ。**かれ**のお顔だけを望み、いかなる被造物も**かれ**に並べてはならない。被造物の主アッラーに讃美あれ。

66 使徒よ、言え。「アッラーはわたしに、益も害ももたらさない偶像のような、あなた方がアッラーをよそに崇拜しているものを崇拜することを禁じた。そのようなものの崇拜の虚妄を示す明証が、わたしのものに訪れたのだ。またアッラーはわたしに、かれだけを崇拜することによって、**かれ**に従うことを命じた。**かれ**は全創造の主であり、**かれ**以外に主はいないのだ。」

本諸節の功德:

- 祈願は崇拜行為そのものであり、アッラー以外の存在に向けてはならない。
- 僕はアッラーの恩恵に対し感謝する義務がある。
- アッラーの永生という属性の確証。
- 行いにおいて至誠を尽くすことの重要性。

إِنَّ السَّاعَةَ لَأْتِيَةٌ لَا رَيْبَ فِيهَا وَلَكِنَّ أَكْثَرَ النَّاسِ لَا يُؤْمِنُونَ ﴿٥٩﴾ وَقَالَ رَبُّكُمْ ادْعُونِي أَسْتَجِبْ لَكُمْ إِنَّ الَّذِينَ يَسْتَكْبِرُونَ عَنْ عِبَادَتِي سَيَدْخُلُونَ جَهَنَّمَ دَاخِرِينَ ﴿٦٠﴾ اللَّهُ الَّذِي جَعَلَ لَكُمْ آيَاتٍ لَتَسْكُنُوا فِيهِ وَالنَّهَارَ مُبْصِرًا إِنَّا اللَّهُ لَدُوٌّ فَضَّلِ عَلَى النَّاسِ وَلَكِنَّ أَكْثَرَ النَّاسِ لَا يَشْكُرُونَ ﴿٦١﴾ ذَلِكَ اللَّهُ رَبُّكُمْ خَلَقَ كُلَّ شَيْءٍ إِلَّا إِلَهًا إِلَّا هُوَ فَادْعُوهُ مُخْلِصِينَ لَهُ الدِّينَ ﴿٦٢﴾ كَذَلِكَ يُؤْفَكُ الَّذِينَ كَانُوا بِآيَاتِ اللَّهِ يَجْحَدُونَ ﴿٦٣﴾ اللَّهُ الَّذِي جَعَلَ لَكُمْ الْأَرْضَ قَرَارًا وَالسَّمَاءَ بِنَاءً وَصَوَّرَكُمْ فَأَحْسَنَ صُورَكُمْ وَرَزَقَكُمْ مِنَ الطَّيِّبَاتِ ذَلِكَ اللَّهُ رَبُّكُمْ فَتَبَارَكَ اللَّهُ رَبُّ الْعَالَمِينَ ﴿٦٤﴾ هُوَ الْحَيُّ لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ فَادْعُوهُ مُخْلِصِينَ لَهُ الدِّينَ ﴿٦٥﴾ الْحَمْدُ لِلَّهِ رَبِّ الْعَالَمِينَ ﴿٦٦﴾ قُلْ إِنِّي نُهَيْتُ أَنْ أَعْبُدَ الَّذِينَ تَدْعُونَ مِنْ دُونِ اللَّهِ لَمَّا جَاءَنِي الْبَيِّنَاتُ مِنْ رَبِّي وَأُمِرْتُ أَنْ أُسَلِّمَ لِرَبِّ الْعَالَمِينَ ﴿٦٧﴾

هُوَ الَّذِي خَلَقَكُمْ مِنْ تَرَابٍ ثُمَّ مِنْ نُطْفَةٍ ثُمَّ مِنْ عَلَقَةٍ ثُمَّ يُحْجِرُكُمْ طِفْلًا ثُمَّ لِتَبْلُغُوا أَشَدَّكُمْ ثُمَّ لِيَكونُوا شُيُوخًا وَمِنْكُمْ مَنْ يُتَوَفَّى مِنْ قَبْلٍ وَلِتَبْلُغُوا أَجْلًا مُّسَمًّى وَلَعَلَّكُمْ تَعْقِلُونَ ﴿٦٧﴾ هُوَ الَّذِي يُحْيِي وَيُمِيتُ فَإِذَا قَضَىٰ أَمْرًا فَإِنَّمَا يَقُولُ لَهُ وَكُن فَيَكُونُ ﴿٦٨﴾ أَلَمْ تَرَ إِلَى الَّذِينَ يُجَادِلُونَ فِي آيَاتِ اللَّهِ أَنَّىٰ يُصْرِفُونَ ﴿٦٩﴾ الَّذِينَ كَذَبُوا بِالْكِتَابِ وَمِمَّا أَرْسَلْنَا بِهِ رُسُلَنَا فَسَوْفَ يَعْلَمُونَ ﴿٧٠﴾ إِذِ الْأَعْمَالُ فِي آعْنَاقِهِمْ وَالسَّلْسِلُ يُسْحَبُونَ ﴿٧١﴾ فِي الْحَمِيمِ ثُمَّ فِي النَّارِ يُسْجَرُونَ ﴿٧٢﴾ ثُمَّ قِيلَ لَهُمْ آيَاتِ مَا كُنْتُمْ تُشْرِكُونَ ﴿٧٣﴾ مِنْ دُونِ اللَّهِ قَالُوا ضَلُّوا عَنَّا بَلْ لَمْ تَكُن تَدْعُوا مِنْ قَبْلُ شَيْئًا كَذَلِكَ يُضِلُّ اللَّهُ الْكَافِرِينَ ﴿٧٤﴾ ذَٰلِكُمْ بِمَا كُنْتُمْ تَفْرَحُونَ فِي الْأَرْضِ بِغَيْرِ الْحَقِّ وَمِمَّا كُنْتُمْ تَمْرَحُونَ ﴿٧٥﴾ ادْخُلُوا أَبْوَابَ جَهَنَّمَ خَالِدِينَ فِيهَا فَبِئْسَ مَثْوًىٰ لِّلْمُتَكَبِّرِينَ ﴿٧٦﴾ فَاصْبِرْ إِنَّ وَعْدَ اللَّهِ حَقٌّ فَأِمَّا نُرِيَنَّكَ بَعْضَ الَّذِي نَعْدُهُمْ أَوْ نتَوَفَّيَنَّكَ فَإِنَّا نَارِي جَعُونَ ﴿٧٧﴾

赦すお方章

475

部 24

かれらの姿は見えません。いえ、そうです。わたしたちは現世で、崇拜に値するものを崇拜してはいませんでした。かれらのこのような迷い同様、アッラーはあらゆる時と場所において、不信仰者たちを真理から迷わせるのだ。

〔75〕また、かれらに言われる。「あなたが苦しめられているその罰は、あなたが多神にうつつを抜き、度を越えて有頂天になっていたためである。

〔76〕地獄の門に入り、そこに永遠に留まれ。真理に対して高慢な者たちの定住地は、何とひどいことか。」

アッラーの使徒がその民から迫害を受け、アッラーがかれに忍耐することを命じた時、**かれ**は約束した勝利で慰めつつ、こう言った。

〔77〕使徒よ、あなたの民の迫害と嘘ばかりに忍耐せよ。あなたの勝利というアッラーの約束は、疑念のない真実。**われら**は、バドルの日に起きたような、**われら**がかれらに警告している罰の一部をあなたの存命中に見せるかもしれないし、またはその前にあなたを召すかもしれない。審判の日にかれらが戻されるのは**われら**のもことであり、**われら**はそこでかれらの行いに報い、かれらを永遠の地獄に入れるのだ。

本諸節の功德:

- 創造における段階性はアッラーの慣習であり、人はそこから人生における段階性を学ぶ。
- 虚妄に有頂天になることの醜悪さ。
- 特に宣教する者にとっての、人生における忍耐の重要性。

〔67〕**かれ**はアーダムを土から創り、その後にあなた方を精液から創り、精液から凝固した血液とし、その後にあなた方を、母親のお腹から小さな子供として出したお方。その後あなた方は身体が成熟する歳に到達し、それから更に歳を取って老人となるが、あなた方の中にはその前に死ぬ者もある。あなた方はアッラーの知識において定められた時期まで到達することになり、それより早いことも遅いこともない。あなた方は**かれ**の力と唯一性を示すこれらの明証を、役立てることだろう。

〔68〕生命を与える力も、死を与える力も、**かれ**のみに属する。**かれ**が何かを決めれば、それに対して「あれ」と言えば、そうなるのである。

〔69〕使徒よ、あなたはその明瞭さにも関わらず、アッラーの印を嘘よばわりして議論する者たちを見なかったのか？ あなたは、かれらが明白なる真理から背を向けるその様子に、驚くだろう。

〔70〕クルアーンと、**われら**が使徒たちに伝達させた真理を嘘呼ばわりする者たちは、嘘呼ばわりしたことの結果を知り、その悪い結末を見ることになろう。

〔71〕かれらは首に枷がはめられ、足には鎖がつけられ、罰の天使たちによって引っ張られるその時、自分たちの結末を知ることになる。

〔72〕かれら(天使たち)は、煮えたぎる熱湯の中でかれらを引きずりまわす。それからかれらは、地獄の中で燃やされる。

〔73〕そしてかれらに、叱責の言葉が放たれる。「あなたが並べて崇拜していた、嘘の神々はどこなのか？」

〔74〕アッラーをよそにして？」それらは益も害もない偶像だった。不信仰者たちは言う。「いなくなっていました。」かれらのこのよ

وَلَقَدْ أَرْسَلْنَا رُسُلًا مِّن قَبْلِكَ مِنْهُمْ مَّن قَصَصْنَا عَلَيْكَ وَمِنْهُمْ مَّن لَّمْ نَقْصُصْ عَلَيْكَ وَمَا كَانَ لِرَسُولٍ أَنْ يَأْتِيَ بِبَيِّنَةٍ إِلَّا بِإِذْنِ اللَّهِ فَإِذَا جَاءَ أَمْرُ اللَّهِ فُضِيَ بِالْحَقِّ وَخَيْرَ هُنَالِكَ الْمُبْطُولُونَ ﴿٧٨﴾ اللَّهُ الَّذِي جَعَلَ لَكُمْ الْأَنْعَمَ لِتَرْكَبُوا مِنْهَا وَمِنْهَا تَأْكُلُونَ ﴿٧٩﴾ وَلَكُمْ فِيهَا مَنَافِعُ وَلِتَبْتَغُوا عَلَيْهَا حَاجَةً فِي صُدُورِكُمْ وَعَلَيْهَا وَعَلَى الْفَالِكِ تَحْمَلُونَ ﴿٨٠﴾ وَيُرِيكُمْ آيَاتِهِ فَأَيَّ آيَاتِ اللَّهِ تُنْكِرُونَ ﴿٨١﴾ أَفَلَمْ يَسِيرُوا فِي الْأَرْضِ فَيَنْظُرُوا كَيْفَ كَانَ عَاقِبَةُ الَّذِينَ مِن قَبْلِهِمْ كَانُوا أَكْثَرًا مِنْهُمْ وَأَشَدَّ قُوَّةً وَءَانَارًا فِي الْأَرْضِ فَمَا أَعْنَى عَنْهُمْ مَّا كَانُوا يُكْسَبُونَ ﴿٨٢﴾ فَلَمَّا جَاءَتْهُمْ رُسُلُهُم بِالْبَيِّنَاتِ فَرِحُوا بِمَا عِنْدَهُمْ مِنَ الْعَالَمِ وَحَاقَ بِهِمْ مَا كَانُوا بِهِ يَسْتَهْزِءُونَ ﴿٨٣﴾ فَلَمَّا رَأَوْا بَأْسَنَا قَالُوا آمَنَّا بِاللَّهِ وَحَدَهُ وَكَفَرْنَا بِمَا كُنَّا يَبْهٍ مُّشْرِكِينَ ﴿٨٤﴾ فَلَمْ يَكُ يَنْفَعُهُمْ إِيمَانُهُمْ لَمَّا رَأَوْا بَأْسَنَا سُنَّتَ اللَّهِ الَّتِي قَدْ خَلَتْ فِي عِبَادِهِ وَخَيْرَ هُنَالِكَ الْكَافِرُونَ ﴿٨٥﴾

⑦8 使徒よ、われらはあなた以前、多くの使徒たちをその民へと遣わしてきた。かれらは嘘つきよばわりされ、迫害されたが、そのことに忍耐した。それらの使徒たちの中には、われらがかれらについてあなたに話してやった者たちもいれば、話さなかった者たちもいる。使徒が主のご意思に適わないまま、その民にかれの印をもたすことはない。だから不信仰者たちが自分たちの民に対し、印を持って来るよう提案することは不正である。使徒たちとその民との間にアッラーの勝利と裁決の命が訪れば、かれはその間を正義によって裁き、不信仰者たちは滅び、信仰者たちは救われる。僕たちが裁かれるその場において、虚妄の民は不信仰で自らを破滅へと追いやったことにより、損失するのだ。

⑦9 アッラーはあなた方のためにラクダ、牛、羊を創ったお方。それはあなた方がその内の一部に乗り、一部の肉を食べるためである。

⑧0 あなた方にはこれらの被造物の中に、折々の時代において変わる様々な利益がある。それらによってあなた方は、陸上や海上での移動など、あなた方が必要としていることを叶えることができる。

⑧1 アッラーはその力と唯一性を示す印を、あなた方に見せる。それがアッラーの印だということが確証された後、あなた方はアッラーの印を認めないというのか？

⑧2 嘘呼ばわりする者たちは地上を旅し、過去の者たちの最後がいかなるものだったのか熟考し、教訓を受けなかったのか？それらの民はかれらより財産も力もあり、地上で多くのものを建設していたが、アッラーの破滅的な罰が訪れた時、かれらが得ていた力がかれらの役に立つことはなかった。

⑧3 かれらのもとに使徒たちが明証を持ってやって来た時、かれらはかれら(使徒たち)を嘘呼ばわりした。そして使徒たちがもたらしたものは相反する知識に、喜んで固執したのだ。こうして使徒たちがかれらに警告し、かれらが嘲笑していた罰が、かれらに下ったのである。

⑧4 かれらはわれらの罰を目の当たりにした時、受容が役に立たない時に受容して、こう言うのだ。「わたしたちはアッラーだけを信じ、わたしたちがかれ以外に崇拜していた偶像や共同者たちを否定した。」

⑧5 われらの罰が下るのをかれらが目の当たりにした時、かれらの信仰は無益である。罰を目にした時には、もう信仰が無益であるというアッラーの慣習は、僕たちに対して履行されてきたのだ。そして不信仰者たちはアッラーの否定と、罰を目の当たりにする前に悔悟しなかったことにより、自ら罰を引き寄せて自滅したことで、損失したのである。

本諸節の功德:

- アッラーには、クルアーンで言及された以外にも使徒たちがおり、わたしたちはそれを一般的な形で信じる。
- アッラーが自らの唯一性を示す印を明確にしてくれるのは、かれからの恩恵である。
- 虚妄に有頂天になることの危険性、およびその悪い結末。
- 破滅的な罰を目の当たりにした時になって信仰しても、それは無効である。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

حَمِّ ① تَنْزِيلٌ مِنَ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ ② كِتَابٌ فُصِّلَتْ آيَاتُهُ وَ
فُرِّعَتْ أَنَاءَ عَرَبِيَّةٍ لِقَوْمٍ يَعْلَمُونَ ③ بَشِيرًا وَنَذِيرًا فَأَعْرَضَ أَكْثَرُهُمْ
فَهُمْ لَا يَسْمَعُونَ ④ وَقَالُوا أَفُلُو بِنَانِي أَكِنَّةٍ مِمَّا نَدْعُونَا إِلَيْهِ
وَفِيءَ آذَانِنَا وَقُفْرًا مِنْ بَيْنِنَا وَبَيْنِكَ حِجَابٌ فَأَعْمَلْنَا مَا عَمِلُوا
⑤ قُلْ إِنَّمَا أَنَا بَشَرٌ مِثْلُكُمْ يُوحَىٰ إِلَيَّ أَنَّمَا إِلَهُ الْكَافِرِينَ ⑥ وَالَّذِينَ
فَأَسْتَقِيمُوا إِلَيْهِ وَاسْتَغْفِرُوا ⑦ وَوَيْلٌ لِلْمُشْرِكِينَ ⑧ الَّذِينَ
لَا يُؤْتُونَ الزَّكَاةَ وَهُمْ بِالْآخِرَةِ هُمْ كَافِرُونَ ⑨ إِنَّ الَّذِينَ
آمَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ لَهُمْ أَجْرٌ غَيْرُ مَمْنُونٍ ⑩ قُلْ أَيَّتُمْ
تَكْفُرُونَ بِالَّذِي خَلَقَ الْأَرْضَ فِي يَوْمَيْنِ وَتَجْعَلُونَ لَهُ وَاثِدًا
ذَلِكَ رَبُّ الْعَالَمِينَ ⑪ وَجَعَلَ فِيهَا رِجَالًا مَشْيُومًا مِنْ فَوْقِهَا
وَبَدْرِكَ فِيهَا وَقَدَّرَ فِيهَا أَقْوَامًا فِي أَرْبَعَةِ أَيَّامٍ سَوَاءً
لِلنَّاسِ لَيْلِيَتٍ ⑫ ثُمَّ أَسْتَوَىٰ إِلَى السَّمَاءِ وَهِيَ دُخَانٌ فَقَالَ
لَهَا وَالْأَرْضِ أُنْتِ طَائِعَةٌ أَوْ كَرِهَا قَالَتَا أَتَيْنَا طَائِعِينَ ⑬

べたりする多神教徒たちに、破滅と懲罰あれ。

⑦ 喜捨を払わず、永遠の安寧と痛ましい罰がある来世を否定する者たちに。

⑧ アッラーとその使徒たちを信じ、善行を行う者たちには途切れることのない、永遠の褒美としての天国がある。」

⑨ 使徒よ、多神教徒たちを咎めて、こう言え。「大地を日曜と月曜の2日間で創ったアッラーを、なぜあなた方は否定するのか？あなた方はかれに共同者をつくり、かれをよそにそれらを崇拜している。かれは全被造物の主だということに。

⑩ またかれはそこ(大地)が揺れ動かないよう、その上に堅固な山々を置いて安定させ、また、そこに人々の食べ物や家畜を定めた。それは先の2日間に続く火曜、水曜を入れた、計4日間のことだった。これはそのことについて質問することを望む者が、分かるようにするため。

⑪ それからかれは天の創造を望まれたが、その時、それは煙だった。かれは天と大地に、言った。「望もうと望むまいと、わが命令に従え。あなた方がそれを拒むことは出来ないが。」するとそれら(天と大地)は言った。「わたしたちは従いました。主よ、あなたがお望みのこと以外に、わたしたちが望むことはありません。」

本諸節の功德:

- 導きの手段が失われた不信仰者は、不信仰に留まることを意味する。
- 喜捨の地位と、それがイスラームの柱の一つであることの説明。
- 宇宙はその中に含まれるものも全て、アッラーの命令に服している。

本章の趣旨:

アッラーに反抗する者の状態と、彼らの結末について

説明:

① 「ハー・ミーム」については、雌牛章冒頭に同様のアーヤの説明あり。

② このクルアーンは、慈悲あまねく慈悲深いアッラーからの啓示。

③ そのアーヤが、完全な形で明確にされた書である。またそれは知識ある民のために、アラビア語のクルアーンとされた。それはかれらがその意味と、そこにある真理への導きを役立てるためである。

④ またそれは、信仰者に対しては、アッラーが準備した偉大なる褒美についての吉報を伝え、不信仰者に対しては痛ましいアッラーの罰を警告するもの。だが多くの者は背を向け、その導きについて受容すべく耳を傾けることがない。

⑤ かれらは言った。「わたしたちの心は覆いで覆われており、あなたが呼びかけるものを理解することが出来ない。またわたしたちの耳は詰まっており、あなたが聞くことが出来ない。わたしたちとあなたとの間には幕があって、あなたの言葉はわたしたちに届かないのだ。だからあなたは、あなたのやり方でやるがよい。わたしたちは自分たちのやり方でやり、あなたに従わないから。」

⑥ 使徒よ、かれら頑迷な者たちに言え。「わたしはアッラーから、あなた方が真に崇拜すべきはアッラーだけであるという啓示を受けた、あなた方同様の人間である。だからかれのもとへと続く道を行き、罪の赦しを請うのだ。アッラー以外のものを崇拜したり、かれに別のものを並

⑫そしてアッラーは天の創造を木曜と金曜という2日間で完成させ、天地の創造は6日間で完成することとなった。アッラーは各天に対して、そこで定めることや、そこで命じる服従や崇拜について、伝えた。また最下層の天を星々で飾り、それによって天をシャイターンたちが盗み聞きすることから守った。このことは全て、誰にも制圧されない偉大なお方であり、創造について全知なお方による定めなのだ。

⑬使徒よ、それがかれらがあなたがもたらした信仰に背を向けるのであれば、言ってやるがよい。「わたしは、フードの民アードと、サーリフの民サムードがかれらの使徒を嘘よばわりした時に受けたような罰について、あなた方に警告した。」

⑭使徒たちがかれらのもとに次々とやって来て、アッラーだけを崇拜せよということだけに招いた時、かれらの内の不信仰者たちは言った。「主が天使たちを使徒として下すことを望んだのであれば、そうしたであろう。わたしたちはあなた方が伝えることを否定するが、それはあなた方がわたしたち同様の人間だからだ。」

⑮アードはアッラーを否定し、不当にも地上で高慢になり、周囲に不正を働いた。そして自分たちの力に自惚れて、言った。「誰がかれらより強力だというのか？」かれらは、自分たちより強力な者がいないと思い込んでいた。アッラーはかれらに答えて言った。「かれらは、かれらを創造し、かれらに力を授けたアッラーこそが、かれらより強力であることを目にしないのか？」かれらは、フードがもたらしたアッラーの印を否定していたのだ。

⑯それでわれらは、かれらにとっての厄災の日々に、轟轟(ごうごう)という風を罰として送った。それはわれらが現世において、かれらに屈辱の罰を下すため。そして来世において待ち受ける罰こそは、より大きな屈辱をもたらすものとなる。かれらは、自分たちを罰から救ってくれる援助者を見出すこともない。

⑰サーリフの民サムードとは言えば、われらが真理の道を説明して示してやったにも関わらず、真理への導きよりも迷いを選んだ。それがかれらはその不信仰と罪のために、屈辱の罰に襲われたのだ。

⑱そしてわれらは、アッラーとその使徒たちを信じ、そのご命令と禁止事項を守ることでアッラーを恐れる者たちを救った。われらはかれらを、かれらの民を襲った罰から救ったのだ。

⑲審判の日、アッラーはその敵を地獄に召集し、地獄の天使たちが昔の者たちも後世の者たちも一緒にする。かれらは地獄から逃れられない。

⑳かれらは地獄に連れられて来ると、現世で行っていたことを否認するが、かれらの耳や目や皮膚は、かれらが現世で犯していた不信仰や罪について証言する。

本諸節の功德:

- 真理に背を向けることは、現世と来世における破滅の原因となる。
- 力強さに思い上がり自惚れることは、真理への服従から遠ざける。
- 不信仰者は、現世と来世の罰いづれをも受けることになる。
- 審判の日、身体器官は証言する。

فَقَضَيْنَهُنَّ سَبْعَ سَمَوَاتٍ فِي يَوْمَيْنِ وَأَوْحَىٰ فِي كُلِّ سَمَاءٍ أَمْرَهَا
 وَزَيَّنَّا السَّمَاءَ الدُّنْيَا بِمَصَابِيحَ وَحِفْظًا ذَلِكَ تَقْدِيرُ الْعَزِيزِ
 الْعَلِيمِ ﴿١٣﴾ فَإِنِ اعْرَضُوا فَقُلْ أَنذَرْتُكُمْ صَاعِقَةً مِّثْلَ صَاعِقَةِ
 عَادٍ وَنَمُودٍ ﴿١٤﴾ إِذْ جَاءَهُمُ الرُّسُلُ مِنْ بَيْنِ أَيْدِيهِمْ وَمِنْ
 خَلْفِهِمْ أَلَّا يَعْبُدُوا إِلَّا اللَّهَ قَالُوا لَوْ شَاءَ رَبُّنَا لَأَنزَلَ مَلَائِكَةً
 فَإِنَّا لِيمَا أُرْسِلْتُمْ بِهِ كَافِرُونَ ﴿١٥﴾ فَأَمَّا عَادُ فَاسْتَكْبَرُوا فِي
 الْأَرْضِ بِغَيْرِ الْحَقِّ وَقَالُوا مَنْ أَنشَدُ مِنَّا قُوَّةً أَوَلَمْ يَرَوْا أَنَّ اللَّهَ
 الَّذِي خَلَقَهُمْ هُوَ أَنشَدُ مِنْهُمْ قُوَّةً وَكَانُوا بِآيَاتِنَا يَجْحَدُونَ ﴿١٦﴾
 فَأَرْسَلْنَا عَلَيْهِمْ رِيحًا صَرْصَرًا فِي أَيَّامٍ نَحْسَاتٍ لِنَنْذِرَهُمْ
 عَذَابَ الْآخِرَةِ وَكَانُوا فِيهَا يَكْمُرُونَ ﴿١٧﴾ وَأَمَّا ثَمُودُ فَهَدَيْنَاهُمْ
 فَاسْتَحَبُّوا الْعَمَىٰ عَلَى الْهُدَىٰ فَأَخَذَتْهُمُ صَاعِقَةُ الْعَذَابِ الْهُونِ بِمَا كَانُوا يَكْسِبُونَ
 ﴿١٨﴾ وَنَجَّيْنَا الَّذِينَ آمَنُوا وَكَانُوا لَنَا يَتُونَ ﴿١٩﴾ وَيَوْمَ يُحْشَرُ أَعْدَاءُ اللَّهِ
 إِلَى النَّارِ فَهُمْ يُوزَعُونَ ﴿٢٠﴾ حَتَّىٰ إِذَا مَا جَاءَهُمْ هَاشِدٌ عَلَيْهِمْ
 سَمِعَهُمْ وَابْصُرَهُمْ وَجَلُودُهُمْ بِمَا كَانُوا يَعْمَلُونَ ﴿٢١﴾

وَقَالُوا لَجُلُودِهِمْ لَمْ يَشْهَدُوا عَلَيْنَا قَالُوا أَنْطَقَنَا اللَّهُ الَّذِي أَنْطَقَ كُلَّ شَيْءٍ وَهُوَ خَلَقَكُمْ أَوَّلَ مَرَّةٍ وَإِلَيْهِ تُرْجَعُونَ ﴿٢١﴾
 وَمَا كُنْتُمْ تَسْتَتِرُونَ أَنْ يَشْهَدَ عَلَيْكُمْ سَمْعُكُمْ وَلَا أَبْصَارُكُمْ وَلَا جُلُودُكُمْ وَلَكِنْ ظَنْنْتُمْ أَنَّ اللَّهَ لَا يَعْلَمُ كَثِيرًا مِمَّا تَعْمَلُونَ ﴿٢٢﴾
 وَذَلِكُمْ ظَنُّكُمُ الَّذِي ظَنْنْتُمْ بِرَبِّكُمْ أَرَدْتُمْ أَنْ تُصِيبُوا مِنْ الْخُسْرَيْنِ ﴿٢٣﴾ فَإِنْ يَصْبِرُوا فَالنَّارُ مَثْوًى لَهُمْ وَإِنْ يَسْتَعْتَبُوا فَتَاهُمْ مِنْ الْمُعْتَبِينَ ﴿٢٤﴾ * وَقِيضْنَا لَهُمْ قُرْنَاءَ فَزَيَّنَّا لَهُمْ مَا بَيْنَ أَيْدِيهِمْ وَمَا خَلْفَهُمْ وَحَقَّ عَلَيْهِمُ الْقَوْلُ فِي أُمَمٍ قَدْ خَلَتْ مِنْ قَبْلِهِمْ مِنَ الْجِنَّ وَالْإِنْسِ إِنَّهُمْ كَانُوا خُSRَيْنِ ﴿٢٥﴾
 وَقَالَ الَّذِينَ كَفَرُوا لَا تَسْمَعُوا لِهَذَا الْفَرْعِ إِنْ وَاعَوْفِيهِ لَعَلَّكُمْ تَعْلَمُونَ ﴿٢٦﴾ فَلَنْذِيْقَنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا عَذَابًا شَدِيدًا وَلَنْجَنِّيَنَّهُمْ أَشْوَأَ الَّذِي كَانُوا يَعْمَلُونَ ﴿٢٧﴾ ذَلِكَ جَزَاءُ أَعْدَاءِ اللَّهِ النَّارِ لَهُمْ فِيهَا دَارُ الْخُلْدِ جَزَاءُ بِمَا كَانُوا بِآيَاتِنَا يَجْحَدُونَ ﴿٢٨﴾
 وَقَالَ الَّذِينَ كَفَرُوا رَبَّنَا أَرِنَا الَّذِينَ أُضْلَلْنَا مِنَ الْجِنِّ وَالْإِنْسِ نَجْعَلَهُمْ تَحْتِ أَقْدَامِنَا لِيَكُونُوا مِنَ الْأَسْفَلِينَ ﴿٢٩﴾

جزء الرابع والعشرون

解説された章

479

部 24

があなた方に読んで聞かせるクルアーンに、耳を傾けるな。その教えに従ってもならない。かれが読む時には大声を上げてやれ。そうすることであなた方は優勢となり、かれは誦読と勧誘を止めるだろう。そうすればわたしたちは楽になるのだ。」

27 われらは審判の日、アッラーを否定しその使徒たちを嘘呼ばわりした者たちに、厳しい罰を味わわせよう。また、かれらが行っていた多神と罪という最悪の物事に対し、罰で報いよう。

28 その報いは、アッラーを否定し、その使徒たちを嘘呼ばわりしたアッラーの敵への報いであり、地獄である。かれらは途切れることなく、永遠にそこに留まる。それはアッラーの印を否定し、その明瞭さと論拠の強さにも関わらず信じなかったことに対する、報いである。

29 アッラーを否定しその使徒たちを嘘呼ばわりした者たちは、言う。「主よ、わたしたちを迷わせたジンと人間を見せて下さい。不信仰とそこへの勧誘をその習いとしたイブリースと、流血を習いとしたアードムの子孫を。地獄でかれらをわたしたちの足の下にし、地獄の民の内でも最も厳しい罰を受ける最底辺の者としてやりますから。」

本諸節の功德:

- アッラーに対する悪い憶測は、不信仰の特性である。
- 人間にとって不信仰と罪は、シャイターンに支配される原因である。
- 審判の日、追隨者たちは、指導者たちが最も厳しい罰を受けることを切望する。

21 不信仰者たちは、自分たちの皮膚に言う。「なぜわたしたちが現世で行っていたことについて、証言するのか?」皮膚は言う。「あらゆるものを語らせるアッラーが、わたしたちに語らせたのだ。かれはあなた方が現世にいる時、あなた方を最初に創ったお方。そして来世では清算と報いのため、あなた方はかれのもとに帰りに行くのだ。」

22 あなた方は罪を犯す時、自分たちの耳や目や皮膚から証言されないために、隠れることすらしなかった。あなた方は死後の清算も罰も褒美も、信じていなかったのだ。あなた方はアッラーが、あなた方の行いの多くを知らないと思ひ込んでおり、それで欺かれたのである。

23 あなた方の主に対する悪い思ひ込みが、あなた方を滅ぼした。そのためにあなた方は、現世と来世における損失者になったのである。

24 自分たちの耳や目や皮膚から証言されたかれらが忍耐したとしても、地獄こそはかれらの定住地であり終着点である。もしかれらが罰の免除やアッラーのお喜びを求めたとしても、かれらがかれのお喜びを得たり、天国に入ったりすることは絶対がない。

25 われらはかれら不信仰者たちに、かれらにまわりつくシャイターンの仲間を準備した。かれら(シャイターン)は現世でのかれら(不信仰者たち)の悪い行いを美しく見せ、将来訪れる来世の物事に関しても美しく見せ、その結果かれらが来世とそのために行いを忘れるようにさせた。かれらには、過去に過ぎ去ったジンや人間からなる集団もろとも、罰が決定されたのだ。かれらは審判の日、自分自身と家族を地獄に入れることにより、損失者となる。

26 不信仰者たちは論拠に対する論拠を示すことが不可能となった時、互いに相談し合って言った。「ムハンマド

アッラーはかれの敵の報いについて描写した後、かれの友について言及し、こう言う。

30 「主はアッラー、かれの他に主はない。」と言って、かれの命令と禁止事項を守ることにおいて確立する者たち。かれらが死ぬ時、かれらのもとには天使たちが降り、こう呼びかける。「死のことも、死後のことについても、恐れるのではない。現世に残してきたことに悲しむこともない。アッラーへの信仰と善行によって、あなた方が現世で約束されていた天国の吉報に喜ぶがよい。

31 わたしたちは現世であなた方の友であり、あなた方のことを正し、守っていた。また、わたしたちは来世でもあなた方の友であり、その状態は続いている。あなた方には天国で、あなた方を楽しませる享樂があり、そこには何でも望む物がある。

32 それは悔悟した僕たちの罪をお赦しになり、慈悲ぶかくあられる主からあなた方への歓待としての、よい糧である。」

33 アッラーの唯一性とその法に則った行いへと招き、主を喜ばせる善行を行い、「わたしはアッラーに服従する者である」と言う者の言葉より、素晴らしい言葉があるか？それらを全て行う者こそは、最もよい言葉を語る者である。

34 アッラーを喜ばせる善行や服従行為と、かれのお怒りを買う悪事や罪とは、同じではない。人から受けた悪行に対しては、最善のもので返してやるがよい。そうすれば過去にあなたに敵意を持っていた者でも、近い友のようになるだろう。

35 しかしそのようなよい特性へと導かれるのは、人々からの害悪や悪事に忍耐する者、偉大な割当が与えられた者だけ。そこには多くの善と利益がある。

36 いつでもシャイターンがあなたに悪を囁きかける時には、アッラーにご加護を請い、かれに避難するがよい。かれはあなたが言うことをお聞きになり、あなたの状態をご存知のお方。

37 夜と昼の交代、太陽と月は、アッラーの偉大さと唯一性を示す、かれの印である。だから人々よ、太陽にも月にもサジダしてはならない。しかしアッラーを本当に崇拝するのであれば、それらを創造したアッラーだけを崇拝するのだ。

38 だがかれらが高慢にも背を向け、創造主アッラーにサジダしなかったとしても、天使たちはアッラーのもので昼も夜もその崇拝に疲れることなく、かれを称え讃美するのである。

本諸節の功德:

- 信仰の確立はアッラーのもので偉大な地位を占める。
- 信仰者の僕たちとその諸事、および被造物の諸事における、アッラーのご配慮。
- アッラーへと招くことの地位と、それが最良の行いであるということ。
- 害悪に忍耐し、善い行いで返すことは、アッラーへと招く者が備えていなければならない2つの品性である。

سُورَةُ هُودٍ ٤٨٠ الْحُودُ الرَّابِعُ وَالْعِشْرُونَ

سجدة

إِنَّ الَّذِينَ قَالُوا رَبُّنَا اللَّهُ ثُمَّ اسْتَقَمُوا تَتَنَزَّلُ عَلَيْهِمُ الْمَلَائِكَةُ أَلَّا تَخَافُوا وَلَا تَحْزَنُوا وَأَبْشُرُوا بِالْجَنَّةِ الَّتِي كُنتُمْ تُوعَدُونَ ﴿٣٦﴾ مَن أَوْلِيَاؤُكُمْ فِي الْحَيَاةِ الدُّنْيَا وَفِي الْآخِرَةِ وَلَكُمْ فِيهَا مَا نَشِئْتُمْ أَنفُسُكُمْ وَلَكُمْ فِيهَا مَا نَدَّعَوْتُمْ ﴿٣٧﴾ نَزَلْنَا مِن غَفُورٍ رَّحِيمٍ ﴿٣٨﴾ وَمَن أَحْسَنُ قَوْلًا مِّمَّن دَعَا إِلَى اللَّهِ وَعَمِلَ صَالِحًا وَقَالَ إِنِّي مِنَ الْمُسْلِمِينَ ﴿٣٩﴾ وَلَا تَسْتَوِي الْحَسَنَةُ وَلَا السَّيِّئَةُ ادْفَعْ بِالَّتِي هِيَ أَحْسَنُ فَإِذَا الَّذِي بَيْنَكَ وَبَيْنَهُ عَدَاوَةٌ كَأَنَّهُ وَلِيٌّ حَمِيمٌ ﴿٤٠﴾ وَمَا يُلْقِيهَا إِلَّا الَّذِينَ صَبَرُوا وَمَا يُلْقِيهَا إِلَّا إِدْوُ حَظِّ عَظِيمٍ ﴿٤١﴾ وَمَا يَنْزِعُكَ مِنَ الشَّيْطَانِ نَزْعٌ فَاسْتَعِذْ بِاللَّهِ إِنَّهُ هُوَ السَّمِيعُ الْعَلِيمُ ﴿٤٢﴾ وَمِن آيَاتِهِ اللَّيْلُ وَالنَّهَارُ وَالشَّمْسُ وَالْقَمَرُ لَا تَسْجُدُوا لِلشَّمْسِ وَلَا لِلْقَمَرِ وَاسْجُدُوا لِلَّهِ الَّذِي خَلَقَهُنَّ إِن كُنتُمْ إِيَّاهُ تَعْبُدُونَ ﴿٤٣﴾ فَإِن اسْتَكْبَرُوا فَالَّذِينَ عِنْدَ رَبِّكَ يُسَبِّحُونَ لَهُ بِاللَّيْلِ وَالنَّهَارِ وَهُمْ لَا يَسْأَمُونَ ﴿٤٤﴾

解説された章 480 部 24

وَمِنْ آيَاتِهِ أَنْ تَرَى الْأَرْضَ خَاشِعَةً فَإِذَا أَنْزَلْنَا عَلَيْهَا الْمَاءَ
 اهْتَزَّتْ وَرَبَّتْ وَإِنَّ الَّذِي أَحْيَاهَا لَمُحْيٍ الْمَوْتِ إِنَّهُ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ
 قَدِيرٌ ﴿٤٦﴾ إِنَّ الَّذِينَ يُدْحِدُونَ فِي آيَاتِنَا لَا يَخْفَوْنَ عَلَيْنَا أَفَمَنْ
 يُلْقَى فِي النَّارِ خَيْرٌ أَمْ مَنْ يَأْتِي بِنَارٍ يَوْمَ الْقِيَامَةِ أَعْمَلُوا مَا شِئْتُمْ
 إِنَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ بَصِيرٌ ﴿٤٧﴾ إِنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا بِالذِّكْرِ لَمَّا جَاءَهُمْ
 وَإِنَّهُمْ لَكِتَابٌ عَزِيزٌ ﴿٤٨﴾ لَا يَأْتِيهِ الْبَطْلُ مِنْ بَيْنِ يَدَيْهِ وَلَا مِنْ
 خَلْفِهِ تَنْزِيلٌ مِنْ حَكِيمٍ حَمِيدٍ ﴿٤٩﴾ مَا يَقَالُ لَكَ إِلَّا مَا قَدَقِيلَ
 لِلرُّسُلِ مِنْ قَبْلِكَ إِنَّ رَبَّكَ لَذُو مَغْفِرٍ وَذُو عِقَابٍ أَلِيمٍ
 ﴿٥٠﴾ وَلَوْ جَعَلْنَاهُ قُرْءَانًا عَجَمِيًّا لَقَالُوا لَوْلَا فُصِّلَتْ آيَاتُهُ
 وَأَعْجَمِيٌّ وَعَرَبِيٌّ قُلْ هُوَ لِلَّذِينَ آمَنُوا هُدًى وَشِفَاءٌ وَالَّذِينَ
 لَا يُؤْمِنُونَ فِي آذَانِهِمْ وَقُرْءَانٌ وَهُوَ عَلَيْهِمْ عَمًى أُولَئِكَ
 يُنَادُونَ مِنْ مَكَانٍ بَعِيدٍ ﴿٥١﴾ وَقَدْ آتَيْنَا مُوسَى الْكِتَابَ
 فَاخْتَلَفَ فِيهِ وَلَوْلَا كَلِمَةٌ سَبَقَتْ مِنْ رَبِّكَ لَقُضِيَ
 بَيْنَهُمْ وَإِنَّهُمْ لَفِي شَكٍّ مِنْهُ مُرِيبٍ ﴿٥٢﴾ مَنْ عَمِلَ صَالِحًا
 فَلِنَفْسِهِ وَمَنْ أَسَاءَ فَعَلَيْهَا وَمَا رَبُّكَ بِظَالِمٍ لِلْعَعِيدِ ﴿٥٣﴾

解説された章

481

部 24

から忍耐せよ。あなたの主は悔悟した僕たちに対しては赦し深く、悔悟せずに罪に固執する者たちに対しては痛烈な罰を下されるお方。

44 もしわれらがこのクルアーンをアラビア語以外の言葉で下したなら、かれらの内の不信仰者たちは言っただろう。「どうしてわたしたちが理解できるように、アーヤは説明されなかったのか？それを伝えているのがアラブ人なのに、クルアーンは外国語だというのか？」使徒よ、かれらに言え。「アッラーとその使徒たちを信じる者たちにとって、クルアーンは迷いからの導き、無知やそこから生じる物事に対する心の癒しなのだ。アッラーを信じない者たちの耳はふさがれ、盲目であり、それを理解しない。これらの者たちはあたかも、遠い場所から呼ばれる者たちのよう。どうして呼びかけの声を聞くことが出来ようか？」

45 われらはムーサーに律法を授けたが、かれらはそこにおいて意見を異ならせた。ある者はそれを信じ、別の者はそれを否定したのだ。審判の日、意見を異ならせたことについて僕たちに判決を下すというアッラーの約束がなければ、かれは律法の中でかれらを裁いていただろう。そして正しい者と誤った者を明らかにし、前者に荣誉を授け、後者を辱めただろう。本当に不信仰者たちはクルアーンに関し、大きな疑念の中にある。

46 善行を行う者の利益は自分に返って来るのであり、誰もアッラーを益することはない。また悪行を行う者の害悪は自分に返って来るのであり、誰もアッラーを害することなど出来ない。かれはそのいずれも、その者に相応しいものによって報いる。使徒よ、あなたの主は僕たちに対して不正を働くお方ではない。善行を削減することも、悪行を追加することもないのだ。

本諸節の功德:

- アッラーはクルアーンを他の啓典とは違って改ざんから守り、その保護を保証した。
- クルアーンはアラビア語で下されたため、アラブ人の多神教徒に言い訳は残らなくなった。
- アッラーが不正ではなく、公正であることの確証。

39 われらが不毛の地に雨を降らすと、そこに覆われた種子が発育することで大地が震え、盛り上がる。あなたが見るその現象は、アッラーの偉大さと唯一性、そして復活の可能性を示す、かれの印である。不毛の地に生を与えるお方は、死人を蘇らせ、清算と報いのために復活させるお方。かれは全能であり、大地が死んだ後に生き返すことも、死者を生き返して墓場から復活させることも、不可能ではないお方である。

40 アッラーの印を否定したり、嘘呼ばわりしたり、改ざんすることで正しさから逸らそうとする者たちの状態を、われらはお見通しであり、知っている。地獄に放り込まれる者と、審判の日に罰から免れる者の、どちらがよいのか？人々よ、よいことでも悪いことでも、好きに行うがよい。われらはあなた方に、善と悪について既に説明したのだから。アッラーは善でも悪でも、あなた方の行いをご覧になるお方。あなた方の行いを全てお見通しのお方。

41 クルアーンがアッラーのもとから下された時、それを否定した者たちは、審判の日に罰される。それは偉大で、守られた啓典。改ざんしようとする者の改ざんの手が及ばない啓典である。

42 その前からも後からも、削除、追加、改ざんなどによって、虚妄が及ぶことはない。創造と定めと法規において英知にあふれ、いつも讚美に値するお方から下されたものである。

アッラーは啓典を嘘呼ばわりした者たちの状態を描写した後、過去の使徒たちが受けていたような嘘呼ばわり、嘲笑と同様のものを受けていたその使徒に対し、忍耐を勧め、慰めつつ、こう言う。

43 使徒よ、あなたに言われているような嘘呼ばわりは、あなた以前の使徒たちにも言われたことなのである。だからあなたに固執する者たちに対しては痛烈な罰を下される